

第六十六條 切石面仕上方法ハ設計書ニ據ルヘシ

第六十七條 切石積合端ハ鑿切トシ每層芋繼ト成ラサル様疊築シ目地ハ三分以内トス

石積内部ノ疊築ハ其都度監督員ノ指示ニ據ルヘシ

第六十八條 煉瓦工ノ目地ハ三分トシ英國式ニ法リ芋繼ナキ様每層叮嚀ニ積立ツヘシ

第六十九條 煉瓦ハ使用前必ス水ニ浸シ充分吸水セシメ泥土塵芥等ヲ洗滌シテ使用スヘシ

第七十條 切石工及煉瓦工ハ毎ニ終業後刷毛ヲ以テ壁面ヲ洗ヒ目塗ニ差支ナキ様目掘ヲ爲シ又各部ヲ葎類ニテ覆ヒ雨雪日光等ニ曝露セサル様ニ爲スヘシ尙氷結ノ虞アル場合ニ於テハ相當ノ防寒設備ヲ爲スヘシ

第七十一條 切石又ハ煉瓦工ハ工事ヲ終リタル後外面ヲ洗滌シ目塗工ヲ施スヘシ

木 橋

第七十二條 木橋ハ橋臺又ハ橋脚ノ竣成シタル後其上ニ馴染能ク土臺木又ハ桁受木

ヲ据付ケ之ニ桁ヲ架ケ渡シ敷板ヲ張り地覆木ヲ取付クヘシ

木橋ハ橋面中央五尺通ヲ除クノ外全部「コールター」塗ヲ施スヘシ

第七十三條 木橋ニ使用スル木材ハ總テ乾割レ、大節、死節等ナキ良材ヲ用ヒ中鉋仕上トスヘシ

職工人夫取扱手續 (大正元年八月六日決議)

第一條 直營工事及ヒ作業用職工及ヒ人夫ヲ別チテ左ノ三種トス

甲種 供給契約ニ基ク供給職工及ヒ人夫

乙種 便宜現場ニ於テ供給セシムル職工及ヒ人夫

丙種 直接雇備ノ職工及ヒ人夫

第二條 乙種供給者ヲ定ムルニハ可成三名以上ノ者ヨリ見積書ヲ徴シ最低者ヲシテ供給セシムルモノトス

但シ豫算範圍内タルヲ要ス

第三條 丙種ヲ雇備スルニハ身元調査ヲ遂ケ確實ト認メタル者タルヲ要ス

第四條 丙種ヲ雇備シタルトキハ遲滞ナク其住所氏名竝ニ用途ヲ本局ヘ報告スヘシ

其異動アル場合亦同シ

第五條 甲種及乙種ニハ鑑札ヲ交付シ丙種ニハ勤怠簿ニ捺印セシムヘシ

第六條 現場監督員ハ其擔當工事又ハ作業ニ要スル甲種若ハ乙種職工人夫ノ用途員數ヲ調査シ場長又ハ工區長ノ認印ヲ受ケ使役ノ前日之ヲ主任書記ニ回付スヘシ

第七條 主任書記ハ前條ノ職工人夫ノ種類員數ヲ供給命令簿ニ記入シ之ヲ供給人ニ通知シ認印セシムヘシ

第八條 現場監督員ハ主任書記立會ノ上職工人夫始業前ニ之ヲ點檢シテ鑑札ヲ交付スヘシ又終業ノトキハ當日使用ノ工具類ヲ整理セシメタル上前同様之ヲ點檢シテ鑑札ヲ取戻スヘシ

第九條 現場監督員ハ出役職工人夫ノ員數又ハ用途及ヒ種類ノ調書ヲ作り翌朝迄ニ之ヲ主任書記ニ報告スヘシ

但シ賃金ノ増減ヲ要スルモノアルトキハ其旨附記スヘシ

第十條 主任書記ハ報告書ヲ調査シ日誌又ハ其他必要ナル帳簿ニ登録シ場長又ハ工區長ノ認印ヲ受ケ以テ賃金支拂ノ資料ト爲スヘシ

第十一條 現場監督員ニ於テ降雨又ハ其他ノ事由ニ依リ出役職工人夫ノ全部又ハ一部ヲ退場セシメムトスルトキハ場長又ハ工區長ノ承認ヲ受クヘシ出役員數ヲ増加シ又ハ役務ヲ轉換スルトキ亦同シ

第十二條 本手續ニ依リ要スル鑑札及ヒ命令簿ハ試驗場及ヒ工區ニ於テ適宜調製スヘシ

橫濱市物品會計規程 (明治四十四年三月二日
十四日廳達第二號)

第一章 總 則

第一條 本市所屬ニ係ル物品ノ會計ハ此規定ニ依リ處理スヘシ但シ特殊ノ取扱ヲ要スルモノハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二條 物品ノ種類ヲ分チテ左ノ六種トス

一、事務用備品

二、事務用消耗品

三、事業用備品

四、事業用消耗品

五、事業用材料

六、動 物

第三條 物品ノ會計ハ其出納ヲ爲シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分ス其ノ年度ハ一般會計年度ニ依ル

第四條 物品ノ出納保管ヲ掌ル者ヲ物品會計吏トス

第五條 市役所、水道局、瓦斯局、十全醫院ニ物品會計吏ヲ置ク

第六條 物品會計吏ハ市役所、水道局、瓦斯局ハ出納課長、十全醫院ハ事務長ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 物品ノ出納命令ハ市役所ハ助役、十全醫院ハ事務長、水道局ハ庶務課長、瓦斯局ハ商務課長之ヲ發スヘシ

第八條 各課、所其他ニ物品取扱主任ヲ置キ物品ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

物品取扱主任ハ其課、所吏員ニ之ヲ命ス

第九條 物品會計吏、物品取扱主任交替シタルトキハ其保管ニ係ル物品ノ受授ヲ了シ其年月日ヲ帳簿ノ末尾ニ記載シ雙方署名捺印スヘシ

物品會計吏ハ市長ニ物品取扱主任ハ所屬物品會計吏ニ引繼濟ノ旨報告スヘシ

第十條 物品會計吏、物品取扱主任ハ死亡其他ノ事故ニ依リ自身引繼ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ市長ハ他ノ吏員ニ命シ前條ノ手續ヲ爲サシム

第十一條 物品ニ價格ヲ附スヘキ場合其價格ハ左ノ區分ニ依ル

- 一、購入品ハ其原價
- 一、生産品ハ原料價格ニ工費ヲ加ヘタル價格
- 一、寄附物品ニシテ價格不明ナルモノハ時價ヲ標準トシテ市長ノ定メタル價格

第二章 出 納

第十二條 各課、所ニ於テ物品ヲ請求セムトスルトキハ物品取扱主任ヨリ物品請求書ヲ所屬會計吏ニ送付スヘシ物品會計吏ハ審査ノ上第七條ノ命令ヲ受ケ物品ヲ交付シ受領書ヲ徴スヘシ

第十三條 不用品若ハ毀損ノ爲メ使用ニ堪ヘサル物品ハ物品取扱主任ニ於テ返納書ニ現品ヲ添ヘ所屬物品會計吏ニ報告シ指揮ヲ受ケ處理スヘシ

第十四條 前條ノ返納ヲ受ケタル物品會計吏ハ現品ヲ調査シ市長ノ決裁ヲ受ケ處理スヘシ

第十五條 物品取扱主任ヨリ物品會計吏ニ送付スル書面ハ總テ主務課長ヲ經由スヘシ

第十六條 物品ハ物品科目表ニ依リ區分整理スヘシ

第十七條 物品整理ノ爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

物品會計吏

一、事務用備品出納簿

一、事務用消耗品出納簿

一、事業用備品出納簿

一、事業用消耗品出納簿

一、事業用材料出納簿

一、動物出納簿

物品取扱主任

一、事務用備品受渡簿

一、事務用消耗品受渡簿

一、事業用備品受渡簿

一、事業用消耗品受渡簿

一、事業用材料受渡簿

一、動物受渡簿

事業用材料受渡簿ハ傳票ニ編綴シ之ニ代フルコトヲ得

第十八條 前條ノ帳簿ハ其證憑書類ニ基キ遲滯ナク登記シ證憑書類ハ順次編綴整理スヘシ

第三章 保管責任

第十九條 貯藏物品ハ物品會計吏共用ノ物品ハ物品取扱主任各自使用ノ物品ハ各自之ヲ保管スヘシ

第二十條 物品會計吏ハ既ニ交付シタル物品ト雖モ取締上ニ關シテハ總テ監督ノ責アルモノトス物品取扱主任ノ各自ノ保管物品ニ於ケル亦同シ

第二十一條 第十九條ニ定メタル保管ノ責アル者其物品ヲ故意怠慢ニ依リ亡失毀損シタルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ直接保管ノ責ナキ者ト雖モ故意怠慢ニ依リ亡失毀損シタルトキ亦同シ

第二十二條 物品ヲ亡失毀損シタルトキハ物品取扱主任ニ於テ直ニ保管責任者若ハ當事者ノ事由書ヲ徵シ所屬物品會計吏ニ送付スヘシ

第二十三條 物品會計吏前條ノ事由書ヲ受クルカ若ハ自己保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ其事實ヲ詳具シ市長ノ決裁ヲ受ケ處理スヘシ

第二十四條 前條ノ辨償金額ハ市長之ヲ定ム

第四章 計算報告

第二十五條 物品會計吏物品取扱主任ハ毎年三月末日保管ニ係ル物品ノ現在高ヲ調査シ帳簿ニ對照ノ上物品會計吏ニ在リテハ五月中市長ニ物品取扱主任ニ在リテハ四月末日迄ニ所屬會計吏ニ報告スヘシ

第五章 検査

第二十六條 市長ハ毎年検査員ヲ命シ所屬物品ノ検査ヲ行ハシム

附則

第二十七條 本規定ハ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

横濱市水道局物品會計手續(明治四十五年二月二十六日
水臨倉第四號決議)

第一條 此手續中ノ用語ニシテ特ニ釋義ヲ要スルモノ左ノ如シ

一「經常部」トハ既設水道ノ管理ニ關スル事業ヲ謂ヒ「臨時部」トハ現ニ進行中ノ臨時水道擴張事業ヲ謂フ

二「或物品ヲ給付スル請負工事」トハ例ヘハ工事ハ請負ニ付シタルモ其所要材料ノ或種類ヲ給與シ又ハ器械等ノ或種類ヲ貸付スルカ如キヲ謂フ

三「庫入」庫出」トハ物品會計吏ノ職權ニ屬スル物品ノ出納ヲ謂ヒ「在庫品」トハ物品會計吏ノ保管スル物品ヲ謂フ

四「生産」トハ局使役ノ勞力ヲ局有材料ニ加ヘテ或物品ヲ製作スルヲ謂フ

第二條 物品ノ名稱及ヒ單位ノ稱呼ハ所定ノ科目表ニ依ル科目表ニ無キトキ又ハ修正ヲ要スルトキハ物品會計吏之ヲ定メ各物品取扱主任ニ通知シ各物品取扱主任ハ

其都度科目表ヲ加除修正スヘシ

第三條 保管物品ノ遺失若ハ盜難ノ場合ハ保管者ヨリ速ニ所轄警察署ヘ届出ツヘシ

第四條 備品(作業具)ハ局有ノ證トシテ焼印ヲ施シ其之ヲ施シ難キモノハ極印ヲ打ツ

ヘシ但シ二ツナカラ施シ難ク若ハ之ヲ施スモ效無キモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 軌條、ボイント、クロツシング、及ヒ「タンテール」等ハ布設シタル後ト雖モ作業

具トシテ整理スヘシ但シ布設後ノ修繕費ハ備品費トシテ支出ノ限ニ在ラス

第六條 用紙類、製圖用消耗品以外ノ物品ノ購買請求傳票ハ物品取扱主任之ヲ調製ス

ヘシ

購買請求傳票ハ物品會計吏先ツ調査シ後之ヲ購買擔任者ニ回付スルモノトス

購買請求傳票ニ該當スル在庫品アルトキハ物品會計吏ハ其由ヲ示シ該傳票ヲ還付

スヘシ

購買請求傳票ハ必ス所定ノ用紙ヲ用フヘシ

第七條 購買物品ノ検査ハ已ムヲ得サル場合ノ外吏員二人以上之ニ當リ検査書ヲ調

製シ購買擔任者ニ回付スヘシ

前項検査書ニ依リ物品會計吏ハ庫入及ヒ庫出ヲ登録シ物品取扱主任ハ該庫出ノ受
入ヲ登録スヘシ但シ場合ニ依リ物品會計吏ニ於テ庫入ノ登録ノミヲ爲スコトアル
ヘシ

第八條 購買物品ハ検査ニ合格シタルモノニ限り其検査済ノ時ヨリ局有トシテ之ヲ
取扱フコトヲ得

第九條 在庫物品ノ庫出ニハ所定ノ庫出傳票ヲ用フヘシ

第十條 物品取扱主任ニ於テ物品ヲ交付スル手續左ノ如シ

一、消耗品ハ交付ト共ニ受領ノ證ヲ徵スルコト

二、備品(作業具)ヲ貸付スル場合ハ所定ノ公借書ヲ徵スルコト

三、事業用材料及ヒ消耗品ハ交付ト共ニ所定ノ請求傳票ニ證印セシムルコト

第十一條 前條ニ依リ交付シタル物品ニシテ破損又ハ失效若ハ不用ニ歸シタル場合

ハ物品取扱主任ハ之ヲ受入ルヘシ

第十二條 臨時部ニ屬スル直轄工事又ハ或物品ヲ給付スル請負工事ノ物品ハ物品取

扱主任ニ於テ一工事毎ニ其受拂ヲ區分整理スヘシ

第十三條 經常部ニ屬スル直轄工事又ハ或物品ヲ給付スル請負工事ノ殘餘品ハ竣工明細書ニ依リ物品取扱主任ニ於テ速ニ庫入ノ手續ヲ行フヘシ

第十四條 物品ノ修繕賣却又ハ廢棄ニ關スル事務ハ物品會計吏ニ於テ之ヲ掌ルモノトス

第十五條 物品取扱主任ノ取扱ニ係ル物品ニシテ破損又ハ失効若ハ不用ニ歸シタルモノハ物品會計吏ニ送付シ處分ヲ求ムヘシ但シ遠隔ノ出張所等ニシテ其附近ニ於テ修繕シ得ルトキ若ハ其地方ニ於テ賣却又ハ廢棄スルヲ有利トスル場合ハ單ニ物品會計吏ニ向テ修繕若ハ賣却又ハ廢棄ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得

第十六條 物品ノ賣却又ハ廢棄案ニハ必要ナル調書ヲ添付スヘシ

第十七條 物品ヲ生産シタル場合ハ物品會計吏及ヒ物品取扱主任ハ所定ノ生産傳票ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第十八條 臨時部ノ物品ハ經常部ニ保管轉換スルコトヲ得ス但シ經常部ノ物品ヲ臨時部ニ保管轉換スルハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 甲乙物品取扱主任間ニ於テ物品ノ保管轉換ヲ要スルトキハ轉換ヲ與フル

物品取扱主任ニ於テ所定ノ傳票ヲ調製シ轉換ヲ受クル物品取扱主任ニ回付スヘシ

第二十條 鐵管試驗場ニ於ケル物品取扱主任ハ東部出張所長ノ發シタル鐵管及ヒ屬具ノ配給通知書ニ依リ試驗濟ノモノヲ送狀ト共ニ順次運送請負人ニ引渡シ其届先ニ於ケル物品取扱主任ハ送狀ニ照シテ之ヲ受ケ入ルト共ニ之ヲ送元ナル物品取扱主任ニ通知スヘシ但シ運送ノ中途ニ於テ運送請負人ヲ異ニスル場合ハ其仲次ヲ監督スル吏員ハ該送狀ニ照シ兩請負人間ノ受授ヲ行ハシムルコトヲ要ス

第二十一條 物品取扱主任ノ收受及ヒ發送スル傳票其他ノ書類ハ總テ所屬上長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第二十二條 現行物品出納方法ハ此手續施行ト共ニ廢止ス現行ノ形式又ハ慣例ニシテ此手續ニ抵觸スルモノ亦同シ

第二十三條 本手續ハ明治四十五年四月十日ヨリ施行ス

道路及ヒ水道線路ニ關スル取扱ノ件(明治四十五年六月二十九日市會決議)

一 市外ニ於ケル水道工事又ハ水道維持上ノ必要ニ依リ幅員狹隘ナル道路ヲ水道局ニ於テ擴張シタルトキハ其土地ハ道路トシテ官有ニ移シ且ツ該道路ノ修理ヲ爲

スコトヲ得

- 二、水道鐵管布設ノ爲メ收用スヘキ土地ニシテ町村カ新ニ開通セムトスル道路ニ恰當スル場合ハ水道局ハ當該町村ト協定シテ其築造ヲ爲シ且ツ鐵管存在中其道路ノ修理ヲ爲スコトヲ得市外ニ於ケル道路ニ水道鐵管ヲ布設スル場合亦同シ
- 三、既設水道線路ニシテ道路ニ接シタル部分ハ鐵管ニ支障ナキ限り荷馬車牛車ヲ除クノ外公衆ヲシテ通行セシムルコトヲ得
- 四、水道工事ノ爲メ町村ノ道路ヲ改廢スル場合ニハ市有地ト廢道路敷トヲ交換スルコトヲ得

時間外勤務手當金支給規程 (大正二年一月七日 告示 第三號)

- 第一條 本市水道擴張事業ニ従事スル吏員ニシテ市内派出所及ヒ鐵管試驗場ニ在勤シ常ニ無休且ツ普通以上長時間ノ勤務ニ服スル者ニハ左ノ範圍内ニ於テ日額手當金ヲ支給スルコトヲ得

技 師 金四拾錢以上六拾錢以内
技 手、書 記 金參拾錢以上四拾錢以内

技手補、書記補 金貳拾錢以上參拾錢以内
雇 金拾錢以上貳拾錢以内

- 第二條 手當金ヲ受クル者市外ニ出張シ本市旅費支給規程第四條ニ依リ日當ヲ受クルトキハ其間手當金ヲ支給セス病氣其他事故缺勤ノトキ亦同シ

東部出張所管内軌道及ヒ車輛取締心得 (明治四十五年三月十二日 第四四五號 決裁)

- 第一條 請負人ニシテ軌道又ハ車輛ヲ使用セムトスル者ハ左ノ各項ヲ具シ東部出張所へ願出テ許可ヲ受クヘシ

- 一、運送品名及ヒ數量
- 一、線路ノ區間
- 一、車輛運轉時間
- 一、車輛一臺ノ積載重量
- 一、使用車輛ノ數(借用又ハ私有ヲ區別スルコト)
- 一、使用ノ期間
- 一、運送監督者ノ宿所氏名

- 第二條 軌道及ヒ車輛ノ使用者ハ終業後使用車輛ヲ軌道保管工區ノ命シタル一定ノ支線内ニ取集メ相當保管ノ設備ヲ施シ置クヘシ
- 第三條 積込積卸ハ必ス支線内ニ於テ行フヘシ
若シ支線内ニ於テ荷役ヲ爲シ能ハサル場合ハ本線ノ使用ヲ許可スルコトアルヘシ
此場合ハ必ス支線ヲ開放スヘシ
- 第四條 橋梁通過ノ際ハ徐行シ且ツ車輛ノ連結ヲ許サス
- 第五條 請負人私有ノ車輛ニハ必ス軌道保管工區ヨリ交付スル木札ヲ打付クヘシ
該木札ナキ車輛ハ使用ヲ許サス
- 第六條 請負人ハ第一條願出外ノ物品ヲ運搬スルコトヲ得ス
- 第七條 車輛ノ運轉時間ハ日出後ヨリ日没前迄トス
- 第八條 國縣道其他軌道保管區ノ指定ノ踏切ニ於ケル車輛ノ運轉ハ人力ニ依リ每車必ス一人以上ノ人夫ヲ附スヘシ且ツ其敷地内ニ停車スルコトヲ許サス
- 第九條 軌道及ヒ車輛使用者ハ總テ當該保管工區ノ指揮命令ニ從フヘキモノトス
索道運轉及ヒ取締心得 (明治四十五年三月十二日
第四五五號制定決議)

第一條 索道ノ運轉時間ハ左ノ如シ

自四月一日 至九月末日 午前六時ヨリ午後五時迄

自十月一日 至三月末日 午前七時ヨリ午後四時迄

但シ時宜ニ依リ右時間ヲ變更スルコトアルヘシ

第二條 索道保線夫ハ毎日左ノ時間ニ全線ヲ巡視シ支障ノ有無ヲ検査シ車軸ニ注油等ヲ怠ラサル様注意スヘシ

一、運轉始業前

一、午後一時

一、運轉終業後

第三條 運轉手ハ保線夫ヨリ支障ナキ旨ノ報告ヲ受ケタル後運轉ヲ開始スヘシ

第四條 終業後索道線内ニ貨物ヲ懸垂セサル爲メ索道下部停車場ニ於テハ終業時間十五分前ニ貨物ノ積込ヲ停止スヘシ

第五條 索道使用ノ許可ヲ與ヘサル貨物ハ一切索道ニ依リ運搬スルコトヲ禁ス

第六條 搬車ハ必ス二百四十尺ノ間隔ヲ置キ發送スヘシ

第七條 何人ト雖モ索道監督主任ノ承認ヲ受ケタル者ニ非サレハ搬車ニ依リ昇降スルコトヲ禁ス承認ヲ受ケサル乗者アリト認メタルトキハ運轉手ハ索道ノ運轉ヲ停止シ監督主任ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條 大雨強風ノ際ハ必ス搬車ヲ上下停車場ニ引入レ途中ニ懸垂スルコトヲ禁ス
第九條 何人ト雖モ索道線ニ故障アリト認メタルトキハ直ニ監督主任ニ報告スヘシ

第三章 起工式

水道擴張工事ノ内隧道及ヒ濾過池竝ニ鐵管布設等ノ工事ハ既ニ着手セラレ配水池及ヒ沈澱池等各工事ノ準備モ亦業ニ成リ近ク起工スヘキヲ以テ明治四十五年六月十一日都筑郡西谷村川島字向臺新設淨水場豫定地ニ於テ水源ヨリ市内ニ互ル全工事ノ起工式ヲ舉行スルコトニ決シ貴衆兩院議員縣市會議員縣官警察署長郡長町村長收入役助役新聞社員其他地方有力者等ニ對シ總數五百餘通ノ招待案内狀ヲ發送シ當日賓客ノ來會スル者百五十餘名ニシテ之カ送迎ノ爲メ保土ヶ谷町ヨリ該淨水場坂下ニ至ル間軌道用臺車ヲ運轉シ又場ノ入口ニ綠門ヲ設ケ此處ニ於テ徽章及ヒ式典次第書擴張

工事設計概要等ヲ呈シ場内ニハ式場食堂ノ外携帶品預所茶吞所ヲ置キ先ツ第一號砲ヲ以テ舉式ヲ報告シ來賓其他一同着席席官數名祭典ヲ執行シ尋テ第二號砲ヲ以テ食堂ヲ開キ神酒鏡餅等ヲ饗シ其間煙火打揚等アリ極メテ盛況裡ニ無事式ヲ終リタリ

第四章 土地買收其他

第一節 土地買收及ヒ地上物件ノ補償

土地ニ關スル事項ハ本事業ニ於テ最モ難事タリシモノノ一ナリト謂ハサルヘカラス是獨リ本事業ノミナラス何レノ工事何レノ地方ト雖モ蓋シ皆然ラサルハナシ殊ニ本事業ノ如キ其區域三十有餘哩ニ互リ多クハ狹長ナル地積ヲ要スルモノナルニ於テ其感更ニ深甚ナラサルヲ得サルナリ既ニ土地收用法ノアルアリ土地買收ハ理論上平易ノ如クナルモ其實局外者ノ想像以外ニアルヲ奈何セン何トナレハ地主ノ多クハ公用徵收ノ觀念ニ乏シク私人間ニ行ハル、普通賣買ト之ヲ同視シ土地所有者タル權利ヲ主張スルコト其一ナリ地主トノ交渉彌久ニ互ルトキハ延テ工事着手期日ノ遷延ヲ來タス虞アルコト其二ナリ去リトテ強制的ノ行爲ハ總シテ關係町村トノ融和ヲ缺キ工

事施行ニ際シ支障尠カラサルコト其三ナリ是即チ土地買收ノ至難ナル所以ナリ然レトモ幸ニシテ收用審査會ノ裁決ニ依リタルモノ少ク多クハ協議上其局ヲ結フコトヲ得其間當事者ノ努力到底筆紙ノ能ク盡ス所ニアラサリキ

以下土地收用ニ關スル一斑ヲ記載セム

當初設計ニ依ル所要土地ハ田畑、宅地、畑、山林其他合セテ二十四町五反八畝十五歩即チ七萬三千七百五十五坪ニシテ此内隧道用地ハ若干ノ使用料ヲ支拂フニ止メ所有權ヲ得ルノ目的ニハ非サリシナリ而シテ此補償金額豫算八萬千七百七拾參圓外ニ右土地ニ於ケル各種建設物ノ補償金額豫算壹萬九千四百八拾壹圓合計金拾萬千貳百五拾四圓ナリキ

此土地收用ニ付テハ其手續ノ區々タラサル様先ツ之ヲ一定スルノ要アルヲ以テ明治四十二年十一月二日左ノ如ク之ヲ定メタリ

土地收用ニ關スル手續

一、本手續ハ收用スヘキ土地ノ概況ヲ調査スルニ始リ土地所有者及ヒ關係者トノ協議ヲ開始スル迄ノ順序方法ノ大要ヲ定ムルモノトス

二、土地調査ハ關係町村ニ於ケル土地一般ノ價格ヲ調査シ以テ土地買收價格算出ノ資料ニ供スルモノトス

三、調査スヘキ重ナル事項左ノ如シ

イ、普通賣買價格

但シ各地目毎ニ且ツ其地ノ狀況ニ鑑ミ之ヲ數等ニ區分シ各階級ニ對スル管内等級並ニ町村内ノ等級ヲ調査スルコト

ロ、賣買價格ヲ定ムルニ付テ慣習アルモノハ其慣習

ハ、賣買價格ト地價トノ割合

ニ、各等級ニ對スル賃貸料

但シ實物支拂ノモノニ在リテハ之ヲ時價ニテ換算スルコト

ホ、公租公課額

ヘ、純收益

ト、純收益ト價格トノ割合

チ、立木、雜木、桑樹ノ價格

但シ立木ニ付テハ種類、大小ヲ適宜ニ區分シ雜木ニ付テハ反當リ平均桑樹ニ付

テハ百本當リ平均價格ヲ見ルモノトス

四、前項ノ調査ハ町村役場、登記所、郡役所、縣農事試驗場、縣農會等ニ就キ調査シ之ヲ參配シテ査定スルモノトス

五、第三項ノ調査ヲ行ヒタル者ハ遲滯ナク其理由ヲ附シタル査定復命書ヲ提出スルモノトス

經理部ハ右査定書ヲ參配シ各町村土地價格標準表ヲ作成スルモノトス

六、縣知事ニ於テ收用スヘキ土地ヲ公告又ハ通知シタルトキハ直ニ之カ調査ニ着手

シ且ツ調査書ヲ作成スルモノトス

七、前項ノ調査ヲ行フ者ハ同時ニ其買收價格、損害賠償額等ヲ調査シ意見ヲ附シテ之ヲ報告スルモノトス

本項ノ調査ニハ第三項、第四項ヲ準用ス

八、土地買收價格其他ノ賠償額ハ土地價格標準表及ヒ前項報告書ニ基キテ之ヲ豫定スルモノトス

九、收用土地所有者及ヒ關係人ト協議ヲ開始スルニ付テハ其以前郡長、町村長等ト打

合ノ上各町村ノ事情ニ適應シタル方法ヲ採ルモノトス

10、土地收用區域ヲ左ノ三區ニ分ツ

第一區 津久井郡

第二區 高座、鎌倉、都筑及ヒ南多摩ノ四郡

第三區 橋樹郡、横濱市

二、各區ニ書記一人乃至四人、技手一人ヲ配置ス但シ彼此兼任セシメ又ハ書記ニ代フルニ囑託員ヲ以テシ若ハ書記、囑託員ヲ併置スルコトヲ得

三、各區ニ一人乃至四人ノ常備人夫ヲ置キ尙臨時ニ同數ノ人夫ヲ置クコトヲ得

四、本手續ニ定メタル事件ニ付テハ隨時之ヲ定ム

是ヨリ前キ準備シツ、アリシ事業認定申請書出來ニ付明治四十二年十一月八日之ヲ提出セリ左ノ如シ

土地收用ニ付事業認定申請書

當市水道擴張工事ノ義明治四十二年八月十六日內務省神甲第九〇號ヲ以テ御認可

相成候ニ付テハ左記ノ市町村内ニ於テ該用地ニ要スル土地收用致度候間右事業御認定被成下度土地收用法第十三條ニ依ル事業計畫書竝ニ圖面及ヒ土地收用法施行令第三條ニ依ル土地ニ關スル調書竝ニ圖面相添此段申請候也

明治四十二年十一月八日

横濱市參事會

横濱市長 三 橋 信 方

内務大臣法學博士平田東助殿

第一、收用スヘキ土地ノ市町村名

神奈川縣津久井郡串川村、三ヶ木村、中野村、太井村、三澤村、川尻村

同縣高座郡大澤村、田名村、溝村、麻溝村、新磯村、大野村、大和村

東京府南多摩郡南村

神奈川縣鎌倉郡瀬谷村

同縣都筑郡都岡村、西谷村

同縣橋樹郡保土ヶ谷町

同縣横濱市淺間町、西戸部町

第二、事業計畫書

一、本市水道ハ明治二十年ノ創設ニ係リ其後人口増殖ノ爲メ同二十九年ヨリ擴張工事ニ着手シ同三十四年竣成ヲ告ケタリシカ爾來市ハ逐年著シク發達シ人口益々増加ノ傾向アルヲ以テ更ニ擴張工事ヲ施サントス

二、擴張ニ係ル水道線路ハ水源タル神奈川縣津久井郡串川村、内郷村ニ起リ現在ノ沈澱池ニ接シテ新設スヘキ沈澱池ヨリ直ニ隧道トナリ同郡三ヶ木村、中野村ヲ經テ太井村ニ至リ相模川ヲ横斷シ三澤村、川尻村地内ニ於ケル隧道ヲ過キ而シテ現在ノ線路ニ接續シ高座郡大澤、田名、溝、麻溝、新磯、大野、大和ノ諸村及ヒ南多摩郡南村、鎌倉郡瀬谷村、都筑郡都岡村ヲ通過シテ同郡西谷村ニ至リ現在線路ヨリ變更分岐シテ新設淨水構場ニ達シ同所ヨリ橋樹郡保土ヶ谷町地内ニ於テ現線路ト合シ横濱市淺間町、西戸部町ヲ經テ從來ノ貯水池タル野毛山ニ至ルモノトス

三、水源地ニ於テハ道志川ヲ横斷シテ堰堤ヲ築造シ水面ヲ高メ現在ノ沈澱池ニ隣

接シ更ニ六個ノ沈澱池ヲ新設ス

都筑郡都岡村現在ノ淨水池ヲ濾過池ニ改造シ且ツ三個ノ濾過池ヲ新設ス

都筑郡西谷村橋樹郡保土ヶ谷町ニ互リ淨水構場ヲ新設シ濾過池八個貯水池二個ヲ設置ス

四、起工ハ工費收入ノ日ヨリ三ヶ月以内ニシテ竣功ハ起工ノ日ヨリ五ヶ年以内トス

右事業計畫書ハ工事設計變更ノ爲メ左ノ通り更正ノ上明治四十三年二月二十日提出セリ

事業計畫書

一、本市水道ハ明治二十年ノ創設ニ係リ其後人口増殖ノ爲メ同二十九年ヨリ擴張工事ニ着手シ同三十四年竣成ヲ告ケタリシカ爾來市ハ逐年著シク發達シ人口益々増加ノ傾向アルヲ以テ更ニ擴張工事ヲ施サントス

二、擴張ニ係ル水道線路ハ水源地タル神奈川縣津久井郡串川村大字青山字匏子平地内取入口ニ起リ此ヨリ隧道ニテ青山地内ヲ經過シ同地字柿濱ニ新設スヘキ

沈澱池ヲ經テ又直ニ隧道トナリ三ヶ木村、中野村ヲ經テ太井村ニ至リ相模川ヲ横斷シ三澤村、川尻村地内ニ於ケル隧道ヲ過キ而シテ現在ノ線路ニ接續シ高座郡大澤、田名、溝、麻溝、新磯、大野、大和ノ諸村及ヒ南多摩郡南村、鎌倉郡瀬谷村、都筑郡都岡村ヲ通過シテ同郡西谷村ニ至リ現在線路ヨリ變更分岐シテ同村内ヲ通過シ字向臺ニ於ケル新設淨水場ニ達シ同所ヨリ橋樹郡保土ヶ谷町地内ニ於テ現在線路ト合シ横濱市淺間町、西戸部町ヲ經テ從來ノ貯水池タル野毛山ニ至ルモノトス

三、水源地ニ於テ道志川ノ右岸ニ取入口ヲ設ケ此ヨリ水路隧道ニ依リテ導水シ現在取入口附近ニ排砂場一個ヲ設置シ且ツ現在沈澱池ニ隣接シテ四個ノ沈澱池ヲ築造ス

四、貯水池ハ野毛山ニ於ケル二個及ヒ都岡村川井ニ於ケル一個ハ從來ノ儘トシ西谷村淨水場内ニ二個ヲ新設ス
濾過池ハ野毛山ニ於ケル六個及ヒ都岡村川井ニ於ケル二個ハ從來ノ儘トシ西谷村淨水場内ニ八個ヲ新設ス

五、起工ハ施行認可ノ日ヨリ三ヶ月以内ニシテ竣功ハ起工ノ日ヨリ五ヶ年以内トス

第三、土地收用法施行令第三條ニ依ル土地調書

第一號 御料地

神奈川縣津久井郡中野村菅ノ澤二千八番山林反別二十四町九反四畝五歩ノ内

一、山林九畝二十四歩五合四勺

但シ水道用地隧道ニ該當スルヲ以テ使用ヲ申請スヘキ分

第二號 中野神社境内地

神奈川縣津久井郡中野村大字中野字上森戸二百六番反別一反八畝十三歩ノ内

一、官有土地四歩二合

同所二百七番反別一畝十六歩ノ内

一、同社地四十一坪八合

但シ水道用地トシテ隧道敷地ニ該當シ地下百尺以上ノ個所ヲ使用スルニ止

マリ事實地表ニハ何等ノ影響ヲ及ホサス且ツ使用ハ永久ノ見込ナリ

第三號 橋樹神社社地

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町帷子字町竝三百八十四番イ號反別二畝十八歩ノ内

一、民有社地二十四坪四合

但シ水道線路敷地ニ係ルヲ以テ拂受ヲ爲スヘキモノ

第四號 杉山神社社地

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地百四十七番ハ號反別二十二歩ノ内

一、官有社地十三坪六合

但シ水道線路敷地ニ係ルヲ以テ拂受ヲ爲スヘキ分

前掲二號乃至四號ノ土地ニ關シテハ各神社ノ承諾書ヲ添付スヘキモ本申請書提出ノ際未タ其承諾書ヲ得ル運ヒニ至ラスシテ後日ニ至リ之ヲ進達シタリ

圖面バ茲ニ省略ス

事業認定ノ申請ハ明治四十三年四月二十日官報ヲ以テ内閣ノ認定スル所トナレリ
左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起 業 者 神奈川縣橫濱市

事業ノ種類 水道布設

起 業 地 (前掲申請書ノ通り茲ニ之ヲ略ス)

右公告ス

明治四十三年四月二十日

内閣總理大臣 侯爵 桂 太 郎

明治四十三年四月二十日日本縣知事及ヒ東京府知事へ細目公告ヲ申請ス

申 請 書

本市水道擴張事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用シ得ヘキモノト内閣ノ認定有之候ニ付テハ收用土地ノ細則別紙ノ通ニ候條土地收用法第十九條ニ依リ御公告相成度云々

明治四十三年四月二十日

橫濱市參事會

水道事務分掌者 朝 田 又 七

神奈川縣知事 男爵 周 布 公 平 殿
東京府知事 阿 部 浩 殿 (各通)

右ニ對シ神奈川縣ニテハ同月二十七日東京府ニテハ同月二十五日左ノ通り公告セラレタリ

明治四十三年四月二十日内閣ノ認定公告ニ係ル神奈川縣橫濱市起業水道布設事業ノ爲メ收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

明治四十三年四月二十五日

東京府知事 阿 部 浩

明治四十三年四月二十日内閣ニ於テ認定公告相成タル神奈川縣橫濱市ノ起業ニ係ル水道布設ニ要スル土地ノ細目左ノ如シ

明治四十三年四月二十七日

神奈川縣知事 男爵 周 布 公 平

(細目ハ之ヲ略ス)

是ニ於テ公然收用ニ着手シ得ヘキコトナリタルモ便宜土地所有者等ノ承諾上土地收用法第二十一條ニ依ル調書ヲ作成スルコトトシ明治四十二年十二月十四日着手同四十三年二月一日之ヲ終了セリ此調査ヲ爲スニハ其關係者ニ左ノ如ク照會セリ
御所有地何町何村何番地ハ當市水道擴張工事用地ニ關係有之候ニ付テハ賣買御協議開始前御立會ノ上調査シ之ヲ確定致置度係員派出セシメ候條何日何時御縁合ノ上御立會相成候様致度此段申進候也

年 月 日

横濱市水道局長

氏

名

宛 名

地上物件ノミノ所有者、地上權者等ニ對シテモ右ニ準シタル書面ヲ發送シタリ而シテ斯ノ如キハ事業認定前ニ之ヲ行ヒシモ毫モ異議ナク而カモ敏速ニ此等調書(其式ハ下ヲ作成シ得タルハ收用上大ナル效果アリタリト謂フヘシ)

調 書

横濱市水道擴張工事ニ要スル土地物件ヲ確定スル爲メ關係人立會ノ上調書二通ヲ作リ雙方一通ヲ保有スルモノナリ

(備考) 土地ノ所在地、地目、坪數等ヲ詳記シ又其土地ニ存在スル樹木、桑樹、建設物等一切ヲ洩サス記入ス
右ノ通ニ有之候也

年 月 日

雙方記名調印

土地査定價格表 (反金)

町村別	田			畑			宅地			山林			平均		
	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三
保土ヶ谷	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000
西谷	4000	3000	2500	1500	1300	1100	900	750	600	500	400	300	200	150	100
都岡	3000	2800	2500	1500	1300	1100	900	750	600	500	400	300	200	150	100
瀬谷	1000	800	600	600	400	300	200	150	100	800	600	400	300	200	100
南	1000	800	600	600	400	300	200	150	100	800	600	400	300	200	100
大和	900	700	600	600	400	300	200	150	100	800	600	400	300	200	100
大野	750	550	500	500	400	300	200	150	100	800	600	400	300	200	100
平均	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000	11000

平均	串川	内郷	三ヶ木	中野	太井	三澤	川尻	大澤	田名	溝	麻溝	新磯
四六〇	三〇〇										二六〇	三〇〇
三〇七	一八〇										二五〇	三三〇
七二二	二〇〇										二〇〇	三〇〇
三三〇	二〇〇										二四〇	二〇七
一八一	二〇〇		一五〇	二〇〇	一五〇	九〇	一〇〇	九〇	一〇〇	九〇	二〇〇	九〇
二一七	六〇		二〇〇	二六〇	二〇〇	六〇	七五	七五	七〇	七五	二〇〇	七五
七四二	四〇		六〇	九〇	六〇	三〇	四五	六〇	五〇	六〇	六〇	四五
二四	七三		二〇	一五	二〇	六〇	七三	七五	七三	七五	二三	七〇
八三四			三四	九〇	九〇		三〇			九〇	一八〇	
五三五			二六	七五	七五		二七		三五	四五	二〇	
三七五	一三		一八	六〇	六〇		一五		一八	二四	九〇	
五八一	一三		二四	七五	七五		二四		二五	五三	一三〇	
六六	四八	四八	四八	四八	四八	四八	六五	一〇〇	一〇〇		六五	五〇
五三	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	五四	七五	七五		五四	四五
四〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	四〇	六〇	六〇		四〇	四〇
五三	三九	三九	三九	三九	三九	三九	五三	七八	七八		五三	四五
三八五	一五六	四八	四八	五三	五〇	六九	一五五	九五	一〇〇	四九五	一七九	一四七
二五三	九三	四〇	四〇	三七	三〇	五〇	一三三	七五	一五八	二六三	一三一	二七
一七八	八三	三〇	三〇	二四	二〇	三〇	七八	六〇	九七	一五〇	一〇〇	九八
二七二	一一	三九	三九	三六	三〇	五〇	二二三	七七	二八	三〇三	一三七	二二

考	備
山林同	市内土地買收標準左ノ如シ
畑同	宅地一坪ニ付 金九圓乃至拾四圓
田同	金七圓乃至九圓
山林同	金拾四圓
山林同	金拾壹圓

是ヨリ前キ土地價格ノ調査終ヘタルヲ以テ土地ニ付テハ前記土地査定價格表地上物件ニ付テハ左記標準ニ基キ收用協議ノ際發表ス可キ價格ヲ確定ス

地上物件補償標準

- 一、家屋其他ノ建物
 - 一等 土藏、石造、煉瓦造等特種ノ建築物 一坪ニ付金拾壹圓以上
 - 二等 木造ニシテ比較的上等ノモノ 一坪ニ付金拾壹圓以下
 - 三等 同普通ノモノ 一坪ニ付金五圓以下
 - 四等 同下等ノモノ 一坪ニ付金參圓以下

二、立木
 二等以下ノモノニシテ市内ニ存在スルモノハ特ニ一階級ヲ上ホスコトヲ得
 移轉ノ爲メ取毀ヲ要セサルモノニ在リテハ前記金額ヨリ三割ヲ減スルモノトス

一、用材ニ適スルモノ 製材シタル市價ノ十分ノ三
 二、用材ニ適セサルモノ其他薪炭用雜木類 價格ノ十分ノ五
 三、苗木又ハ矮小ナル樹木若ハ少數ノ爲メ賣買ノ目的物タルニ足ラサルモノノ類
 其價格全部

三、桑、茶、果樹類
 毎年收取スヘキ果實ヲ三ヶ年平均シタル市價ニ換算シ其五ヶ年間ニ相當スル
 金額

四、庭木、庭石、鉢、前燈籠、池、板塀、竹垣、生垣等 見積人夫賃(移轉)
 五、井戸、呼井戸 開鑿費井戸側代共全部
 但シ井戸側ニシテ尙使用ニ堪ユルモノハ其半額以下ヲ減スルモノトス
 六、火ノ見梯子、揭示場ノ類 見積人夫賃(移轉)

七、墓地 遺骨一個ニ對シ改葬料金七圓
 八、水車 各個ニ付特ニ經伺ノコト
 農作物ハ其土地ノ明渡期ヲ收穫後ト爲シ之カ補償ヲ爲サス
 土地買收發表確定額表 (反金)

町村別	區分			
	田	畑	山林	宅地
串川村	三〇〇	一三〇	四八	三四五
三ヶ木村		一五〇	四八	三四五
中野村		二二〇	四八	九〇〇
太井村	三〇〇	一五〇	四八	九〇〇
三澤村		九〇		
川尻村		一〇〇	六五	三〇〇
大澤村		九〇	一〇〇	三〇〇
田名村		九〇		三〇〇

溝	麻	新	大	大	南	瀬	都	西	保	浅	西
村	溝	磯	野	和	谷	岡	谷	ケ	ケ	間	戸
村	村	村	村	村	村	村	村	谷	谷	町	部
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	町	町
二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇
九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四	四一四
九〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇

前記發表確定額ヲ以テ地主及ヒ地上物件所有者ト數回若ハ數十回ノ交渉ヲ遂ケタル

モ價格ノ低廉ヲ想ヘラレ協議調ハサリシヲ以テ土地買収發表確定額ヲ増加シ以テ漸ク別表ノ如ク賣買及ヒ補償ノ協定成立スルニ至レリ蓋シ當時ノ水道委員矢野祐義森田伊助諸氏等ノ努力並ニ左記地方有力者ノ援助共ニ與テ力アリタリト謂フヘシ

津久井郡串川村	梅澤馨兒	津久井郡串川村	平本齊一郎	津久井郡串川村	山口長吉
同	武内榮太郎	同	大内寛	同	久保田喜右衛門
同	永瀬彌太郎	同	井出小太郎	同	梅澤泰助
同	梅澤傳兵衛	同	梅澤多藏	同	三樹保治
同	大塚兼太郎	同	大塚巳之助	同	山本由藏
同	山本九郎兵衛	同	甘利吉太郎	同	相川績
同	大塚藤三郎	同	成瀬國之輔	同	田谷龜藏
同	梶野宏三	同	梶野一朗	同	角田福三
同	八木國次郎	同	小野澤喜一郎	同	岡崎理一
同	友谷藤吉	同	八木彌之助	同	小池房吉
同	八木兵輔	同	木上庄右衛門	高座郡大澤村	山口金作
同	同	同	同	同	同

高座郡大澤村	齋藤福治郎	高座郡大澤村	吉村虎藏	高座郡大澤村	笹野三吉
同	梅澤代吉	同	中里市五郎	同郡田名村	田所種吉
同	木下國太郎	同	大谷仁三郎	同	篠崎忠太郎
同	小川彌太郎	同郡溝村	清水量平	同郡溝村	小泉清十郎
同郡溝村	小山榮左衛門	同郡麻溝村	福田來助	同郡麻溝村	小山虎之助
同郡麻溝村	座間良助	同	中島軍之助	同郡新磯村	田所新作
同	角田藤重郎	同	齋藤常吉	同郡大野村	小峯庄吉
同	小方勘藏	同	岩本七三郎	同	吉澤欽一
同	古木祥三郎	同	守屋信伊之助	同	澁谷龜藏
同	三橋清次郎	同郡大和村	土屋藤吉	同郡大和村	高下才助
同郡大和村	大谷直治	南多摩郡南村	山下政治	南多摩郡南村	宮本八十吉
南多摩郡南村	渡邊徳太郎	同	井上市松	同	林常助
同	井上廣吉	同	井上八郎兵衛	鎌倉郡瀬谷村	高下鷺藏
都筑郡岡村	横溝傳造	都筑郡岡村	久保田喜一郎	都筑郡岡村	足立龍藏

同	阿部太兵衛	同	阿部仙藏	同	栗原惠次郎
同	鈴木準藏	同	新川丈太郎	同	鈴木範作
同	瀬戸豊之助	同郡西谷村	三村啓作	同郡西谷村	植村秋藏
同郡西谷村	島崎房三郎	同	三村佐吉	同	三村周藏
同	石井石藏	同	綿貫啓助	同	中田復四郎
橋樹郡保土ヶ谷町金	金子泰吉	橋樹郡保土ヶ谷町中村六三郎	橋樹郡保土ヶ谷町山本新太郎		
同	飯岡周藏	同	磯貝林藏	同	飯岡郡藏
同	岩本辰藏	同	安藤太郎	同	岡野欣之助

(以上順位不同)

土地買收及ヒ地上物件補償額

總面積十三萬七千四百九十二坪六合九才

此土地代金七萬八千七百貳拾六圓五錢參厘

此地上物件補償金參萬四千九百八拾九圓九拾參錢

計金拾壹萬參千七百拾五圓九拾八錢參厘

畑	一五〇	一五七一〇〇	七五八七二〇	九四七七一〇	一七〇六四三〇	八〇	四五
宅地	三七五	四八〇五〇〇	六〇〇六七〇	一、三四四三四〇	一九四五〇二〇	三五	三〇
同	一五〇	一八一三〇〇	九〇六五〇	六一五三〇	一五二一八〇	二	二
山・林	一五〇	二、〇四七三八〇	八一九五〇	五六一五六〇	一、三八〇五一〇	二五	一九
原野芝地	三七五	八八四〇	一一一五〇	二〇二五〇	三三三〇〇	一	一
計	四二八八四五〇	二、三四六七〇〇	二、九八六七〇〇	五、三三四〇〇〇	一四六	九九	九八

高座都田名村地内

畑	一三〇	二、三九九〇六〇	一、〇二七八二〇	九六二八〇	一、九五四一〇〇	二〇七	九八
宅地	六〇〇	一〇九三〇	二二八六〇	四六一〇	二六四七〇	一	一
計	二、四〇九九〇	一、〇四九六八〇	九三〇八九〇	一、九八〇九七〇	二〇八	九九	九九

同郡溝村地内

畑	一三〇	一、三四五六二〇	五八三〇九〇	二〇〇三〇〇	七八三三九〇	四五	二三
宅地	六〇〇	一〇九三〇	二二八六〇	三四六六〇	五六五二〇	一	一
計	一、三五六五五〇	六〇四九五〇	二、三四九六〇	八三九九一〇	四六	二四	二四

同郡麻溝村地内

田	三〇〇	六九五二〇	六九五二〇	—	六九五二〇	八	六
畑	一三〇	三〇七九七〇	一三三四七〇	七二四三〇	二〇四九〇〇	二五	一五
同	一〇〇	二五二二六〇	一〇〇四六〇	八〇二九〇	一八〇七五〇	一八	一五
同	一〇五	二四三〇九〇	八四七四〇	三三七三〇	一七四七〇	一六	二二
同	九〇	二五三三〇〇	七六一〇	四三二〇〇	一一八三二〇	一六	一三
宅地	一八〇	一三一八〇	七九一〇	一四〇〇	九三二〇	一	一
山・林	九〇	一一三〇〇〇	三三九二〇	一一八七〇	四五七九〇	五	五
同	七五	九一八七六〇	二二九七八〇	六四三七〇	二九四一五〇	六五	三六
計	二、一六九四三〇	七三五九〇〇	三〇四二九〇	一、〇四〇一九〇	一五四	一〇三	一〇三

同郡新磯村地内

畑	九〇	一〇四七九〇	三二四五〇	一三三九〇	四四八四〇	一一	一一
---	----	--------	-------	-------	-------	----	----

高座郡大野村地内

山		計	
林	七五	一三三四〇	三三三八〇
計	七五	二三八三〇	六四八三〇
山	七六八〇	二二〇七〇	七六八〇
宅	四一〇六〇	八五九〇〇	四一〇六〇
同	一四	二六	一四
畑	一	一八	一
計	一〇五	六四七五〇	二二六六〇
同	九〇	六一〇六〇	二八八五九〇
宅	二四〇	三七二五〇	三九三五〇
山	九〇	三〇二六〇	一三〇七八〇
同	七五	一、四九八二〇	三六四一四〇
計	二、六五〇九〇	六、七五〇	八、四五二〇
畑	一〇五	一八三、一五〇	二、三六六〇
同	一八二、四〇〇	七、二四八〇	二、〇二四〇
同	一、一五五〇	四、一八〇〇	六、二二九〇
同	一、六九三三〇	五、一〇九〇	七、九三六〇
計	二、八二七〇	一、九四九〇	二、八二七〇
同	一、二〇	一、八二四〇〇	一、二〇
同	一〇五	一、一九五五〇	一、〇五
同	九〇	一、六九三三〇	一、〇五

同郡大和村地内

山		計	
宅	四三三三〇	三三八五〇	一一二五二〇
地	六五〇五〇	一六二四〇	一八九六〇
計	五七七五六〇	二、五七四六〇	三、五七九〇
山	二七六、〇二〇	一九〇、〇一〇	四六六、〇三〇
宅	一四、一八〇	一、一三四〇	九六、三四〇
同	三、七二四〇	一、六一三〇	二七、八八〇
山	一〇〇	一〇〇、〇八〇	二九、八六二〇
同	一〇〇	一八、二八〇	三、八〇五〇
原野芝地	五、四八五〇	一、九七七〇	八、二六九二〇
計	一、〇、四四〇、八〇	四、二二八五〇	八、二六九二〇
畑	一三〇	六、三、七四〇	四、三
同	二、四〇	一、四、一八〇	一
宅	一、三〇	三、七、二四〇	一
山	一〇〇	三〇、〇四〇	二〇
同	一〇〇	三、〇、〇四〇	一
原野芝地	一〇〇	五、四、八五〇	三
計	一、〇〇	一、〇、四、四〇、八〇	六、八

南多摩郡南村地内

畑		計	
田	一六五〇〇〇	一六五〇〇〇	二
計	九四七、一〇	四、二〇、一〇	六
畑	三〇〇	一、六五〇〇〇	二
同	一三〇	九四七、一〇	六
計	一三〇	三、五、三五〇	四

鎌倉郡瀬谷村地内

山	100	245,320	87,210	87,090	168,800	8	4
計	504,930	287,720	1,334,400	400,260	16	9	

都筑郡都岡村地内

田	340	355,580	368,860	654,000	375,400	28	13
畑	330	223,580	245,810	1,230	247,040	30	13
同	340	416,600	472,000	1,366,000	183,800	2	2
同	330	756,000	830	0,330	864,000	2	2
同	190	964,890	607,100	375,540	948,250	59	24
同	180	1,205,330	732,870	655,810	1,378,680	93	39
宅地	340	501,300	568,800	660,900	777,000	4	4
同	330	271,090	299,010	1,179,630	1,478,640	18	16
同	330	430,000	473,000	400,000	447,300	2	1
山	190	915,500	579,700	283,300	863,300	3	2
計	4,433,330	2,867,330	3,625,420	6,492,740	2,633	219	

同郡西谷村地内

田	400	249,910	333,380	0,100	333,380	11	5
畑	277	52,330	48,330	22,500	70,630	2	1
同	200	171,033	114,066	1,828,720	1,313,538	60	35
同	199	3,075,890	2,048,077	430,100	2,478,277	6	3
同	185	1,034,800	6,381,350	923,280	7,304,530	50	37
同	170	2,110,310	1,257,940	1,685,800	1,426,520	26	23
宅地	400	633,300	844,400	92,340	1,767,800	3	2
山	200	1,690,910	1,127,270	1,401,000	1,131,370	5	4
同	170	475,030	269,140	387,600	307,900	1	5
計	4,433,330	2,867,330	3,625,420	6,492,740	2,633	219	

宅	四、五〇〇	二六三〇〇	三九三三〇〇	八四〇〇八〇	一、三三三三八〇	三	四
同	四、三〇〇	二七七〇〇	三九八〇八〇	一、二九七六三〇	一、五九五七一〇	一	五
同	四、一〇〇	五七三五〇	八〇三九〇〇	四二九五二〇	一、三三三四二〇	三	四
同	三、九〇〇	一三三三二〇	一、六〇五七六〇	一、三五〇三三〇	二、九五五九九〇	五	六
同	三、六〇〇	一五五六六〇	一、八六七九二〇	一、二七六六六〇	三、一四四五八〇	七	二
同	三、三〇〇	四九八八〇	五四八六八〇	七七九四三〇	一、三三八一一〇	二	九
同	三、〇〇〇	一一六八〇	一一六八〇〇	一四六八九〇	二七三六九〇	二	五
同	二、五五〇	八〇〇〇	六八〇〇〇	—	六八〇〇〇	一	一
同	二、四〇〇	九二五九〇	七四〇七二〇	六五八五九〇	一、三九九三二〇	一〇	七
同	一、八〇〇	一一一五五三	六〇九三三八	—	六〇九三三八	一	一
山	三、九〇〇	一一一五〇	一四三六五〇	二七三三二〇	四一六九六〇	一	一
同	三、六〇〇	一〇一一〇	一一一三二〇	—	一一一三二〇	一	一
同	三、四五〇	二二七六〇	二六二七四〇	二〇〇〇	二六三七四〇	一	一
計	—	一、四三三六九八	一三、〇七七四九八	七、二一八八一〇	二〇、二〇六二六八	八三	九八

合	計	一三七四九三六〇九	七八、七六〇五三	三四、九九九三〇	一一三、七二五九八三	二四三三	一、三四六
---	---	-----------	----------	----------	------------	------	-------

而シテ隧道上部ハ元地主ニ地上權ヲ附與スルコトトシ地上物件ニ對シテハ一切ヲ補償セス

右地上權附與ニ關スル市會ノ議決左ノ如シ
水第一〇號議案 (明治四十三年七月三十日議決)

本市水道擴張ノ爲メ收用セシ土地ニシテ隧道上部ニ位スル地表ハ元地主ノ爲メ無償無期限ノ地上權ヲ設定スルコトヲ得ルモノトス

理由

今回水道擴張ノ爲メ掘鑿スヘキ隧道ハ孰レモ百尺乃至數百尺ノ地下ヲ貫通スルモノニシテ其地表ノ使用ハ毫モ隧道其モノニ關係ヲ有セス又將來關係ヲ生スヘキ事實發生スヘシトハ想像シ能ハサル所ナリ此ヲ以テ土地ヲ收用スルニ當リ地上物件ノ補償ヲ爲サス而シテ元地主ニ地上ヲ使用セシメムトスルモノニシテ畢竟雙方ノ利益タルハ勿論尋テ不毛ノ土地タラサラシメムカ爲メニ他ナラス蓋シ

隧道上部ヲ其儘ニ放置セハ忽チ人ノ蹂躪スル所トナリ終ニハ荒廢ニ歸スヘケレハナリ

右決議ニ基キ不動産管理ノ申請ヲ爲セリ左ノ如シ

水臨經第一八九三號

不動産管理ノ件申請

本市水道擴張工費用トシテ買入レタル土地ノ中隧道ノ上部ニ當ル土地ハ元地主ノ爲メニ無期無償ヲ以テ地上權ヲ設定スルコトヲ得トノ市會ノ決議ニ基キ今回別紙(之ヲ略ス)記載ノ土地ニ之ヲ設定致度候ニ付御許可相成度爲念理由書相添ヘ市制第百六十七條ニ依リ此段申請候也

大正三年十二月十七日

横濱市長 安藤謙介

神奈川縣知事 石原健三殿
理由書

一、地上權ヲ設定セムトスル土地ハ其地下數十尺乃至數百尺ノ地中ヲ貫通スル隧道

用地トシテ買入レタルモノナリ

一、斯ク深キ地中ヲ通スル隧道ナルカ故ニ其地表ト工作物トハ事實全ク無關係ノ状態ニ在リ亦將來關係ヲ生スルノ虞アリトハ認メサル所ナリ

一、然ルニモ拘ラス土地ノ所有權ヲ取得セサルヲ得サリシハ他人ノ所有地ニ於テ斯

ル永久的工事ヲ有效且ツ有利ニ施設シ能ハサルヲ以テナリ

一、故ニ所有權ヲ得完全ニ工作物ヲ所有シ得ハ即チ足レリ不必要ナル地表ノ爲メ敢

テ多額ノ補償ヲ爲スノ要ナシトセリ

一、元地主ニ於テモ亦所有地ヲ細ク長ク割取セラレ、ヲ苦痛トシ所有權ハ之ヲ移付

スルモ地上權ヲ得テ適法ニ使用シ得ムコトヲ希望セリ

一、斯クテ買受人ハ所有權ヲ得ルモ一切ノ地上物件ニ對スル補償ヲ爲サス賣渡人ハ

所有權ヲ失フモ從前通り若ハ其用法ヲ改メテ之ヲ使用シ得ヘクシテ結局雙方ノ

利益トセル所ナリ

大正三年十二月二十五日神奈川縣内務部ヨリ前記申請ノ土地中田畑原野秣場等耕作又ハ牧畜ノ目的トナルヘキ土地ニ對シテハ民法ノ規定ニ依リ地上權ヲ設定スルコト

能ハサルヲ以テ之カ訂正スヘキ旨照會ニ接セリ本件ニ付テハ充分論議ノ餘地アレトモ既ニ監督官廳ニ於テ右ノ如キ意向ヲ有スル上ハ之ヲ争フモ詮ナキモノトシ大正四年一月八日水臨經第二號ヲ以テ前掲田畑原野秣場ヲ除キタル宅地山林ニ對シ前記同様ノ申請ヲ爲シ左記ノ通り許可ヲ得タリ

神奈川縣指令内縣第九二號

横濱市

大正四年一月八日付水臨經第二號申請不動産管理ノ件許可ス

大正四年二月二十三日

神奈川縣知事 石原健三

地上權設定ノ運ヒニ至ラサリシ土地ニ對シ該權利ニ代フルニ永小作權ヲ設定スルコトトシ左記市會ノ決議ヲ得タリ

水第一五號議案(大正四年六月十五日原案可決)

本市水道擴張ノ爲メ收用セシ土地ニシテ隧道上部ニ位スル地表ノ中地目ノ畑及ヒ原野芝地並ニ原野秣場ナルモノニ限り元地主ノ爲メ永小作權ヲ設定スルコトヲ得

ルモノトス

理由

明治四十二年水第十號ヲ以テ地上權設定ノ議決ヲ求メタル際ハ畑芝地及ヒ秣場ト雖モ現ニ竹木ト稱ス可キ桑樹ヲ植栽セル以上ハ宅地山林ト同シク地上權ヲ設定シ得ルモノト解釋シタルニ縣廳ニ於テハ永小作權トスヘキ性質ノモノトシテ許可セラレサルニ依ル

右市會ノ決議ニ基キ不動産管理ノ申請ヲ爲セリ左ノ如シ

水臨第三七二號

永小作權設定許可申請ノ件

本市水道擴張工事ノ爲メ隧道用地トシテ買収ノ土地ノ内地目ノ畑及ヒ原野芝地並ニ原野秣場ナル別紙(之ヲ略ス)ノ土地ニ五十個年ノ永小作權ヲ設定致度ニ付御許可相成度市制第六十七條ニ依リ左記書類相添へ此段及申請候也

大正四年六月十七日

横濱市長 安藤謙介

神奈川縣知事 石 原 健 三 殿

記

一市會決議書 (前記決議書ノ通)

一理由書 (前記地上權設定申請書添付ノモノト同様)

右申請ニ對シ左記ノ如ク許可ヲ得タリ

神奈川縣指令内縣第四一五六號

橫 濱 市

大正四年六月十七日付水臨經第三七二號申請永小作權設定ノ件許可ス

大正四年六月二十四日

神奈川縣知事 石 原 健 三

津久井郡串川村外四ヶ村地内ニ於ケル青山、城山、太井、川尻隧道用トシテ幅員九尺乃至十二尺ヲ買收セシ前記土地ノ外隧道ノ保全ヲ圖ル爲メ更ニ各隧道ヲ通シ用地ノ兩側ニ幅員各三尺ツ、追加買收ノ土地ニ對シテモ前記同様地上權及ヒ永小作權設定ノ爲メ監督官廳ノ許可申請ヲ爲シタルモノ左ノ如シ

水庶第四〇三號

不動産管理ノ件申請

本市水道擴張工事に用トシテ曩ニ買入レタル津久井郡青山、城山、太井、川尻ノ各隧道敷地之幅員狹隘ノ爲メ今般追加買收ヲ爲シタル別紙(之ヲ略ス)土地ニ對シ左記各項ニ基キ地上權竝ニ永小作權ヲ設定致度ニ付市會ノ決議書(前記同様)寫竝ニ理由書(前記同様)相添ヘ市制第六十七條ニ依リ此段及申請候也

一、土地ノ地目宅地、山林ニ對シテハ無期無償ヲ以テ地上權ヲ設定スル事

二、土地ノ地目畑、原野、芝地竝ニ原野秣場ニ對シテハ五十個年ノ永小作權ヲ設定スル事

三、大正四年二月二十三日付神奈川縣指令内縣第九二號竝ニ同年六月二十四日付同第四一五六號ノ許可ニ基キ既ニ地上權竝ニ永小作權ノ設定ヲ爲シタル土地竝ニ本申請ノ土地ニシテ今後前記第一項ヲ第二項地ニ第二項地ヲ第一項ノ各土地目ニ變換ノ必要生シタル場合ハ各項地目ニ該當スル權利ニ設定換ヲ爲シ得ル事

大正五年七月十四日

横濱市長 安藤謙介

神奈川縣知事 有吉忠一殿

右申請ニ對シ左ノ通り許可アリタリ

神奈川縣指令内地第一四四號

横濱市

大正五年七月十四日付水庶第四〇三號申請不動産管理ノ件許可ス

大正五年七月二十二日

神奈川縣知事 有吉忠一

地上權及ヒ永小作權設定條件ニ關シ權利者ト數回ノ交渉ヲ重ネ漸ク左ノ如ク協定ヲ遂ケタリ

地上權設定條件

- 一、目的ハ工作物又ハ竹木ヲ所有スル爲メニシテ其區域ハ目的地全部ノ地表トス
- 二、存續期間ハ横濱市水道工作物存續中トス（永久）

三、地代ハ無償タルコト但シ公租、公課ハ地上權者ノ負擔トス

四、地主及ヒ地上權者ノ權利義務ハ民法其他ノ法律規則ニ遵フモノトス

永小作權設定條件

- 一、目的ハ耕作又ハ牧畜ヲ爲スタメニシテ其區域ハ目的地全部ノ地表トス
- 二、存續期間ハ五十個年トシテ期間滿了後ト雖モ水道工作物存續中ハ期間ノ更新ヲ爲スコト

三、永小作料ハ其土地ノ公租、公課ト同一額トス

四、永小作權者カ所有スル接續地ニ竹木又ハ工作物ヲ有スルニ至リタルトキハ地上

權ニ更改スルコト

五、地上權者及ヒ永小作權者ノ權利義務ニ付テハ前記地上權設定條件第四項ト同一ノコト

右條件ヲ以テ各隧道ヲ通シ地上權及ヒ永小作權ヲ設定セシ筆數六百六十五筆此權利者百十三名ニシテ其詳細ハ左ニ掲クルカ如シ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 山 畑 同 山 芝原 畑 同
林 林 地野

〇〇〇三〇〇 〇二〇三〇〇 〇二〇九〇〇 〇四二二〇〇 〇四二六〇〇 〇二〇〇〇〇 〇二〇八〇〇 〇三二二〇〇 〇五〇九〇〇 〇六一九〇〇 〇六二六〇〇 〇三二二〇〇 一四〇〇〇〇

| | | | | | | | 〇二九 | | 〇六六 〇三二 |

二 三 三 三 三 一 四 三 五 四 四 三 四 八
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

大塚文雄 山本リッ 長田重太郎 大塚龜太郎 久保田福太郎 久保田喜右衛門 山本傳吉外一名 久保田甚太郎 同 大塚富士太郎 井上八五郎 同 同 中野村

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買取其他

四四五

中野村 計 同 同 同 同 同 同 同 三ヶ木村 計 同 串川村

山林 同 山林 畑 芝原 畑 山林 宅地 山林 畑 山林

一二二五〇〇 一二二九〇〇 〇〇二五〇〇 〇〇三三〇〇 | | | 〇五二五〇〇 〇二六〇〇 〇〇二二〇〇 二二〇八二五 〇二二五〇〇

| 〇六五 | | 〇三〇〇 〇二四 〇三二 | | | 二七一五 〇〇三四

三 四三 三 三 九 六 三 一四 三 二 一三八 二 五

城山隧道用地 同 同 同 同 同 同 同 城山隧道用地 同 城山隧道用地

又野村 小野澤竹次郎 三樹齊一 三樹保治 同 同 同 三樹十太郎 梅澤馨兒 梅澤泰助外二名 安養寺

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買取其他

四四四

津久井郡	川尻村	川尻隧道用地	〇七五	三	榎本正義
同	同	同	〇三四	九	小池要藏
同	同	同	〇〇五	二	樋口房太郎
同	同	同	〇〇〇	三	宮崎周藏
同	同	同	〇二六	六	小池佐平
同	同	同	〇一〇	三	八木小左衛門
同	同	同	〇〇七	三	宮崎政治
同	同	同	〇〇六	三	八木金左衛門
同	同	同	〇〇六	三	小池富藏
同	同	同	〇二〇	六	八木茂柄
合計			二〇一	六九	
合計			二〇三五四	六六五	

地主トノ協議調ハサル爲メ收用審査會ノ裁決ヲ請ヒシモノ左ノ如シ

裁決申請書

申請人

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝田又七

土地所有者

橋樹郡保土ヶ谷町佛向五百十一番地

北村雄之助

本市水道擴張事業ニ付テハ既ニ制規ノ手續ヲ經土地收用法ニ依リ所要ノ土地ヲ收用スルモノニ有之候處前記土地所有者トハ屢々協議ヲ爲セシモ終ニ協議不調ト相成候間御裁決相成度左記關係書類相添へ此段申請候也

明治四十三年八月六日

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝田又七

神奈川縣收用審査會會長男爵 周布公平殿

添付書類

一、事業計畫及ヒ圖面各一通

一、收用スヘキ土地ノ番號、地目、面積及ヒ其土地ニ存在スル物件ノ種類、數量、損失補償見積金額、收用ノ時期、土地所有者ノ氏名、住所ヲ記載シタル書類 一通

添付書類及ヒ圖面ノ登載ヲ省略ス但シ補償見積價格ハ田一反歩ニ付金四百圓トシ收用ノ時期ハ明治四十三年十一月一日トセリ

右申請ニ對スル裁決

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者

橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向五百十一番地

北 村 雄 之 助

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地百七十九番田ノ内二十二歩三合二勺同百七十六番田ノ内

二歩七合三勺同百七十八番ノイ田ノ内十一歩三合同百七十七番田ノ内十八歩八合合計一畝二十五歩一合五勺トス

一、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償ハ一步ニ付金壹圓六拾六錢六厘計九拾壹圓八拾八錢トス

一、收用ノ時期

明治四十四年一月二十五日トス

理 由

收用スヘキ土地ノ區域ハ神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地百七十九番田ノ内二十二歩三合二勺同百七十六番田ノ内二歩七合三勺同百七十八番ノイ田ノ内十一歩三合同百七十七番田ノ内十八歩八合此合計一畝二十五歩一合五勺ニシテ之カ補償額ニ付起業者ハ一步ニ付金壹圓參拾參錢參厘ト申立所有者ヨリハ何等申立ナキモ之ヲ一步ニ付金壹圓六拾六錢六厘計九拾壹圓八拾八錢ト爲スヲ相當ナルモノト認メ本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ主文ノ通り決定ス

明治四十四年一月七日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

右原本ニ依リ此謄本ヲ作ル

明治四十四年一月九日

神奈川縣收用審査會

即チ右裁決ハ申請人カ申立テタル補償金額田一反歩ニ對シ四百圓ノ割合ヲ金五百圓ノ割合ト爲シタルモノナリ
此外申請シタルモノハ何レモ同文例ニ付以下其申請書ノ登載ヲ省略シ裁決書ノミヲ掲クルコトトセリ

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者
橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向十八番地
板 津 勇 次 郎

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域
神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町字前耕地百五十三番ノイ田ノ内二十七歩一合一勺トス
一、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償ハ一歩ニ付金壹圓六拾六錢六厘計金四拾五圓拾六錢五厘トス
一、收用ノ時期
明治四十四年一月二十五日トス

理 由

收用スヘキ土地ノ區域ハ神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地百五十三番ノイ田ノ内二十七歩一合一勺ニシテ之カ補償額ニ付起業者ハ一歩ニ付金壹圓參拾參錢參厘計金參拾六圓拾四錢ト申立所有者ヨリハ何等申立ナキモ之ヲ一歩ニ付金壹圓六拾六錢六厘計金四拾五圓拾六錢五厘ト爲スヲ相當ト認メ本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ主文ノ通り決定ス
明治四十四年一月七日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

本件亦田一反金四百圓ト見積リシヲ金五百圓ノ割合ニテ裁決ト成レリ

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者
橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向三百六十五番地

山本重五郎

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地二百十三番田ノ内三步同百七十八番田ノ内十八步三合八勺此合計二十一步三合八勺トス

二、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償ハ一步ニ付金壹圓六拾六錢六厘計金參拾五圓六拾壹錢九厘トス

三、收用ノ時期

明治四十四年一月二十五日トス

理 由

收用スヘキ土地ノ區域ハ神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向字前耕地二百十三番田ノ内三步同百七十八番ノ口田ノ内十八步三合八勺此合計二十一步三合八勺ニシテ之カ補償額ニ付起業者ハ一步ニ付金壹圓參拾參錢參厘計金貳拾八圓五拾錢ト申立所有者ヨリハ何等申立ナキモ之ヲ一步ニ付金壹圓六拾六錢六厘計金參拾五圓六拾壹錢九厘ト爲スヲ相當ト認メ本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ主文ノ通り決定ス
明治四十四年一月七日

神奈川縣收用審査會會長

本件モ亦前裁決ト同一ナリキ

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者

橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向三百八十五番地

正福院住職 山 本 快 雄

物件所有者

同 縣同 郡同 町同字五百九十七番地

山 本 勝 五 郎

同 縣同 郡同 町字坂本百八十五番地

大 塚 熊 藏

右起業者ノ申請ニ係ル水道擴張用地買收ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買收其他

神奈川縣都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番地一反七畝二十四步此面積五百六十一坪一合五勺同六百三十四番地三反四畝九步此面積千八十三坪五合六勺同六百三十五番地一反一畝二十四步此面積四百四十四坪六合二勺同六百三十七番地八畝九步此面積二百七十九坪四合七勺同六百三十八番地八畝三步此面積五百十八坪五合七勺同六百三十九番地一反二畝二十四步此面積二百七十七坪八合二勺トス

二、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償額ヲ一坪ニ付金六拾六錢六厘計金貳千四拾八圓七錢七厘トシ土地所有者正福院住職山本快雄ニ補償スヘシ

收用土地地上物件移轉補償額ヲ字向臺六百三十六番地内ニ在ル桑(三三)十二株ニ對シ計金貳圓四拾錢同桑(三三)千八百本ニ對シ計金貳拾七圓トシ字向臺六百三十四番地内ニ在ル桑(三三)八十七株ニ對シ計金拾七圓四拾錢同桑(三三)二百八十五株ニ對シ計金拾四圓貳拾五錢同桑(三三)二百三十本ニ對シ計金參圓四拾五錢トシ字向臺六百三十六番及六百三十四番地内ニ在ル桑(三三)六十五株ニ對シ計金拾參圓同茶九株ニ對シ計金五圓四拾錢トシ字向臺六百三十七番地内ニ在ル桑(三三)二十九株ニ對シ計金五圓八拾錢同桑(三三)二千百株ニ對シ計金參拾壹圓五拾錢トシ字向臺六百三十八番地内ニ在ル桑(三三)十七株ニ對シ計金參圓四拾錢同桑(三三)三百四十本ニ對シ計金參拾四圓同桑(三三)千八十本ニ對シ計金拾六圓貳拾錢同茶四株ニ對シ計金貳圓四拾錢トシ字向臺六百三十九番地内ニ在ル桑(三三)十八株ニ對シ計金參圓六拾錢同桑(三三)四百三本ニ對シ計金四拾圓參拾錢

トシ各物件所有者ニ補償スヘシ

三、收用ノ時期

明治四十四年一月二十八日トス

理由

收用スヘキ土地ノ區域ハ神奈川縣都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番地一反七畝二十四步此面積五百六十一坪一合五勺同六百三十四番地三反四畝九步此面積千八十三坪五合六勺同六百三十五番地一反一畝二十四步此面積四百四十四坪六合二勺同六百三十七番地八畝九步此面積二百七十九坪四合七勺同六百三十八番地八畝三步此面積五百十八坪五合七勺同六百三十九番地一反二畝二十四步此面積二百七十七坪八合二勺ニシテ之カ損失補償額ニ付起業者ハ一步ニ付金五拾錢計金千五百參拾七圓六拾壹錢ト申立テ所有者ヨリハ何等申立ナキモ之ヲ一步ニ付金六拾六錢六厘計金貳千四拾八圓七錢七厘ト爲スヲ相當トシ又地上物件移轉損失補償ニ付起業者ハ字向臺六百三十六番地内ニ在ル桑(三三)千八百本ニ對シ一本ニ付金五厘計金九圓ト申立ツルモ之ヲ一本ニ付金壹錢五厘計金貳拾七圓ト爲スヲ相當トシ又同六百三十四番地内ニ在ル桑(三三)二百八十五株ニ對シ起業者ハ一株ニ付金參錢五厘計金九圓九拾八錢ト申立ツルモ之ヲ一株ニ付金五錢計金拾四圓貳拾五錢ト爲スヲ相當トシ同番地内桑(三三)二百三十本ニ對シ起業者ハ一本ニ付金五厘計金壹圓拾五錢ト申立ツルモ之ヲ一本ニ付金壹錢五厘計金參圓四拾五錢ト爲スヲ相當トシ同番地苺培養地三反五畝步ニ對シ起業者ハ一坪ニ付金拾五錢計金百五拾七圓五拾錢ト申立ツルモ之ヲ一坪ニ付金貳拾錢計金貳百拾圓ト爲スヲ相當トシ同字六百三十七番地内ノ内桑(三三)二千百本ニ對シ起業者ハ一本ニ付金五厘計金拾圓五拾錢ト申立ツルモ之ヲ一本ニ付金壹錢五厘計金參拾壹圓五拾錢ト爲スヲ相當

トシ同字六百三十八番畑地内桑(三三)三百四十本ニ對シ起業者ハ一本金壹錢計金參圓四拾錢ト申立
 ツルモ之ヲ一本ニ付金拾錢計金參拾四圓ト爲スヲ相當トシ同番地内桑(三三)千八十本ニ對シ起業者
 ハ一本金五厘計金五圓四拾錢ト申立ツルモ之ヲ一本ニ付金壹錢五厘計金拾六圓貳拾錢ト爲スヲ相
 當トシ同字六百三十九番畑地内ニ在ル桑(三三)四百三本ニ對シ起業者ハ一本ニ付金壹錢計金四圓參
 錢ト申立ツルモ之ヲ一本ニ付金拾錢計金四拾圓參拾錢ト爲スヲ相當トシ其他字向壹六百三十六番
 畑地内ニ在ル桑(三三)十二株同字六百三十四番畑地内桑(三三)八十七株同字六百三十五番畑
 地内桑(三三)六十五株及ヒ茶九株同字六百三十七番畑地内桑(三三)二十九株同字六百三十八
 番畑地内桑(三三)十七株同茶四株同字六百三十九番畑地内桑(三三)十八株ニ對シテハ總テ起
 業者ノ申立ヲ適當ナルモノトシ實地ノ狀況ニ鑑ミ地上物件移轉ニ要スル時日ヲ見積リ主文ノ通り
 決定ス

明治四十四年一月七日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

此裁決ハ起業者ノ申立テタル畑一反歩ニ付金百五拾圓ノ補償額ヲ金貳百圓ノ割合ト
 爲シ又地上物件補償ニ於テ大ナル差アルモノハ桑苗木類ニシテ一本五厘ノモノ金壹
 錢五厘ト又一本金壹錢ノモノ金拾錢ト裁決アリタルニアリ其他右裁決理由書ノ如シ

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者

橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地物件所有者

神奈川縣津久井郡青野原村九百九十番地

小 俣 杉 松

抵當權者

神奈川縣愛甲郡愛川村牛原四千四百八十九番地

井 上 保 次 郎

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

神奈川縣津久井郡串川村大字青山字大岩下三千五百七十番畑ノ内十八坪六合同村同大字字柿濱三

千二百九十四番畑四十四坪同村同大字同字三千二百九十六番原野芝地三十坪トス

二、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償額ヲ字大岩下三千五百七十番畑ニ對シ一坪ニ付金五拾參錢參厘計金九圓九拾
 壹錢四厘トシ字柿濱三千二百九十四番畑ノ内三坪二合三勺ニ對シ一坪ニ付金四拾錢計金壹圓貳拾

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買收其他

九錢貳厘同四十坪七合七勺ニ對シ一坪ニ付金貳拾錢計金八圓拾五錢四厘トシ同字三千二百九十六番原野芝地ニ對シ一坪ニ付金拾五錢計金四圓五拾錢トシ抵當權收用ニ對スル損失補償額ハ孰レモ收用土地損失補償額ニ包含スルモノトシ收用土地地上物件移轉補償額ヲ字柿濱三千二百九十四番畑地内ニ在ル桑三本ニ對シ金九錢トス

一、收用ノ時期

明治四十四年一月二十五日トス

理由

收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申立ノ通りニシテ起業者ハ抵當權收用ニ對スル損失補償額ハ孰レモ收用土地損失補償額ニ包含スルモノトシ土地損失補償額ヲ字大岩下三千五百七十番畑ノ内十八坪六合ニ對シ一坪ニ付金參拾參錢參厘計金六圓拾九錢字柿濱三千二百九十四番畑ノ内土地ノ現存スルモノ三坪二合三勺ニ對シ一坪ニ付金參拾參錢參厘計金壹圓八拾錢同地番内土地ノ流失セルモノ四十坪七合七勺ニ對シ一坪ニ付金拾壹錢六厘計金四圓七拾參錢同字三千二百九十六番原野芝地土地ノ流失セルモノ三十坪ニ對シ一坪ニ付金拾壹錢六厘計金參圓四拾八錢ト申立土地地上物件中字柿濱三千二百九十四番畑地内ニ在ル桑三本ニ對スル移轉補償額ニ付一本金參錢計金九錢ト申立土地物件所有者ハ意見書中ニ於テ起業者申請補償額不當ノ理由トシテ種々陳述スル所アルモ一定ノ補償額ニ付申立ツル所ナク又權利關係人ヨリ何等申立ナキモ本會ハ抵當權收用ニ對スル補償額ヲ收用土地損失補償額ニ包含スルモノト爲ス起業者ノ申立ヲ適當ナルモノトシ土地損失補償額ヲ字大岩下三千五百七十番畑ノ内十八坪六合ニ對シ一坪ニ付金五拾參錢參厘計金九圓九拾壹錢四厘字柿濱三千二百九十四番畑

全部收用ノ内土地ノ現存スルモノ三坪二合三勺ニ對シ一坪金四拾錢計金壹圓貳拾九錢貳厘同上ノ内(土地ノ流失セルモノ)四十坪七合七勺ニ對シ一坪ニ付金貳拾錢計金八圓拾五錢四厘同字三千二百九十六番原野芝地(土地ノ流失セルモノ)三十坪(全部收用)ニ對シ一坪ニ付金拾五錢計金四圓五拾錢トシ字柿濱三千二百九十四番畑地内ニ在ル桑三本ニ對スル移轉損失補償額ハ起業者申立ノ通りトス
本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ地上物件移轉ニ要スル時日ヲ見積リ主文ノ通り決定ス
明治四十四年一月七日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者

橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣津久井郡中野村五百六十二番地成瀬廣吉遺產相續人

成 瀬 マ マ

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買収其他

神奈川縣津久井郡中野村上川和四百七十番地墓地十四歩トス

二、損失ノ補償

收用土地損失ノ補償額ヲ一步ニ付金五拾六錢六厘計金七圓九拾貳錢四厘トシ收用土地地上物件中遺骨二十八個ニ對スル移轉補償額ヲ計金貳百八拾圓トス

三、收用ノ時期

明治四十四年一月三十日トス

理由

起業者ハ土地所有者ヲ成瀬廣吉ト申立土地物件所有者成瀬タマハ成瀬廣吉遺產相續人ナリト申立雙方合致セサルヲ以テ之ヲ所轄官公署公簿上ニ就キ審査スルニ成瀬タマト爲スヲ相當ナルモノトシ收用スヘキ土地ノ區域及ヒ地上物件ニ付起業者ハ神奈川縣津久井郡中野村上川和四百七十番墓地十四坪ノ内十二坪六合二勾トシ之カ損失補償額ヲ一坪ニ付金五拾六錢六厘計金七圓九拾四錢ト申立地上物件ニ對シテハ申請書附屬土地及ヒ地上物件取調書備考ニ於テ墓地ハ隧道上部ニ該當スルヲ以テ地上物件ノ補償ヲ爲サ、ル代償トシテ永久地上權ヲ附與シ現在ノ狀態ヲ保タシムルモノナリト述ヘ土地物件所有者成瀬タマハ明治四十三年十月五日付提出土地收用ニ關スル意見書ニ於テ墳墓ハ祖先ノ靈魂ヲ納メ清淨ニ慰安スヘキ靈地タリ故ニ假令數十丈ノ地下ト雖モ之ヲ掘鑿スルハ人倫ノ情ニ於テ忍ビ難ク依テ收葬ノ止ムヲ得サル事實ニ付相當ノ補償料ヲ求ムト述ヘ尙明治四十四年一月十一日本會ニ於テ該意見書及ヒ明治四十三年十一月十一日提出該意見書附屬墓地移轉遺骨收葬ニ要スル費用見積書(附取調書ニ於テ收葬費一圓ニ付)中文意不明ノ點ニ付質問ニ對シ土地物件所有者代人山口敏三

申立ノ要領ヲ綜合シテ案スルニ墓地ハ一團トシテ使用スルモノナルヲ以テ起業者收用土地ノ區域ヲ全區域十四歩ト爲シ地上物件ノ補償ハ全區域ニ互リ埋葬シアル遺骨(全部)二十八個ニ對シ移轉收葬損失補償ヲ求ムルモノナリト述ヘ雙方ノ申立ニ對シカカラサル差異アルモ右ハ起業者收用土地ノ區域ヲ全區域十四歩ト爲スヲ適當ナルモノトシ此損失補償料ヲ一步ニ付金五拾六錢六厘計金七圓九拾貳錢四厘トシ地上物件ニ付テハ遺骨二十八個ニ對シ收葬補償ヲ要スルモノトシ此移轉收葬損失補償料ヲ計金貳百八拾圓トス本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ遺骨收葬ニ要スル日時ヲ見積リ主文ノ通り決定ス

明治四十四年一月十一日

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

神奈川縣橫濱市參事會水道事務分掌者

橫濱市水道局長 朝 田 又 七

土地所有者

神奈川縣橫濱市南仲通四丁目七十番地

多 田 二 郎

抵當權者

神奈川縣橫濱市南太田町二千百三十三番地

上 耶 清 助

抵當權者

神奈川縣横濱市南仲通四丁目七番地

多田信夫

右起業者ノ申請ニ係ル土地收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用土地ノ區域

神奈川縣横濱市西戸部町字横枕千四百二十五番口號宅地二十坪ノ内八坪トス

二、損失ノ補償

抵當權收用ニ對スル損失補償ハ收用土地損失補償額ニ包含スルモノトシ收用土地損失ノ補償額ヲ

一坪ニ付金八圓五拾錢計金六拾八圓トス

三、收用ノ時期

明治四十四年六月十五日トス

理 由

收用スヘキ土地ノ區域ハ神奈川縣横濱市西戸部町字横枕千四百二十五番口號宅地二十坪ノ内八坪ニシテ起業者ハ土地損失補償額ヲ一坪ニ付金五圓計金四拾圓トシ抵當權ノ補償ハ該土地損失補償額ニ包含スルモノト申立所有者及ヒ抵當權者ヨリハ何等申立ナキモ本會ハ土地損失補償額ヲ一坪ニ付金八圓五拾錢計金六拾八圓トシ抵當權收用ニ對スル補償ハ該土地損失補償額ニ包含スルモノト爲ス起業者ノ申立ヲ適當ナルモノトシ實地ノ狀況ニ鑑ミ主文ノ通り決定ス

明治四十四年五月二十日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

裁 決 書

起 業 者

神奈川縣横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝 田 又 七

賃借權者及ヒ物件所有者

神奈川縣横濱市西戸部町八百六番地

末 田 万 吉

右起業者ノ申請ニ係ル權利收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用スヘキ權利ハ神奈川縣横濱市西戸部町字大松久保八百六番イノ一宅地百六十七坪四合一勺ノ内三十八坪三合五勺ニ對スル賃借權ニシテ此損失補償料ハ該權利ニ因リ所有スル建物合坪數十三坪二合五勺ニ對スル移轉損失補償額ニ包含スルモノトシ此損失補償額ヲ金貳百拾貳圓トシ其他地上物件移轉損失補償額ヲ金拾貳圓七拾六錢トス

理 由

二、地上物件移轉ノ時期ハ明治四十四年六月二十日トス

收用スヘキ權利ハ神奈川縣横濱市西戸部町字大松久保八百六番イノ一宅地百六十七坪四合一勺ノ内
 三十八坪三合五勺ニ對スル賃借權ニシテ此損失補償料ハ該權利ニ因リ所有スル建物合坪數十三坪二
 合五勺ニ對スル移轉損失補償料ニ包含スルモノト爲ス起業者ノ申立ヲ適當ナルモノトシ此損失補償
 額ヲ起業者ハ一坪ニ付金拾圓計金百參拾貳圓五拾錢ト申立賃借權及ヒ物件所有者ヨリハ何等申立ナ
 キモ之ヲ一坪ニ付金拾六圓計金貳百拾貳圓ト爲スヲ相當ナルモノトシ又同所内地土物件中移轉損失
 補償額ニ付起業者ハ板塀(長八間三分)一箇所ニ對シ金四圓九拾八錢同板塀(高六尺)一個所ニ對シ金四拾錢
 稱生垣(高五尺)一個所ニ對シ金貳圓七拾五錢ト爲スヲ相當ナルモノトシ當起業者ハ地上物件中竹高サ
 七尺三株、松高サ四尺一本、柳高サ六尺一本、紅葉高サ二尺一本、樹高サ六尺一本、稱高サ五尺一本、青桐高サ
 六尺一本、黃楊目通一尺一本、植木高サ平均二尺二十二本ニ對スル移轉損失補償額ヲ計金壹圓拾四錢ト
 シ移轉費力物件ノ價格ヲ超ユルヲ以テ收用ヲ求ムト申立賃借權及ヒ物件所有者ヨリハ何等申立ナキ
 モ總テ移轉セシムルヲ適當ナルモノトシ之カ移轉損失補償額ヲ竹三株ニ對シ一株ニ付金拾錢計金參
 拾錢トシ松一本、柳一本、紅葉一本、榎一本、青桐一本、黃楊一本、植木二十二本門(木柱)一個所木戸
 三個所丸土管七本ニ對シテハ計金四圓參拾參錢トシ本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ地上物件移轉ニ要スル
 日時ヲ見積リ主文ノ通り決定ス

明治四十四年五月二十日

裁 決 書

神奈川縣收用審査會會長
 神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

起 業 者

神奈川縣横濱市參事會水道事務分掌者
 横濱市水道局長 朝 田 又 七

賃借權者及ヒ物件所有者

神奈川縣横濱市西戸部町八百六番地
 小 深 仁 三 郎

右代理人

東京市京橋區弓町二十三番地
 辯 護 士 天 野 大 藏

右起業者ノ申請ニ係ル權利收用ノ件ニ付審査裁決スルコト左ノ如シ

主 文

一、收用スヘキ權利ハ神奈川縣横濱市西戸部町字大松久保八百六番イノ一宅地百六十七坪四合一勺ノ
 内二十八坪四合九勺ニ對スル賃借權ニシテ此損失補償料ハ建物坪數十三坪二合五勺ニ對スル移轉
 損失補償料ニ包含スルモノトシ此損失補償料ヲ計金百九拾八圓七拾五錢トシ其他地上物件移轉損
 失補償料ヲ計金四百拾貳圓拾五錢トス

理 由

二、地上物件移轉ノ時期ハ明治四十四年六月二十五日トス

起業者ノ收用スヘキ權利ハ神奈川縣横濱市西戸部町字大松久保八百六番イノ一宅地百六十七坪四合

一勾ノ内二十八坪四合九勾ニ對スル賃借權ニシテ此損失補償料ハ建物板葺木造平家卸下共十三坪二合五勾ニ對スル移轉損失補償料ニ包含スルモノトシ此損失補償料ヲ一坪ニ付金拾圓計金百參拾貳圓五拾錢トシ其他地上物件移轉損失補償料ヲ金拾壹圓六拾錢トシ植木大小取交四本ハ移轉費カ物件ノ價格ヲ超ユルヲ以テ取用ヲ求ムルト申立賃借權及ヒ物件所有者小深仁三郎代理人天野大藏ハ明治四十四年四月八日提出意見書中ニ於テ本件建物坪數ヲ四十有餘坪ト申立起業者申請ニ對スル不服ノ理由トシテ本件家屋ハ牛舎及ヒ牛乳搾取所乳牛飼養ノ場所竝ニ居宅カ一棟内ニ存在スルモノニシテ其一部ヲ切取リ他ニ持チ行クトキハ殘存スル部分ハ到底從來ノ目的ニ使用スルヲ得スト述ヘ其見積書ニ於テ住宅及ヒ牛舎移轉直シ費額ヲ六百四拾九圓トシ尙理由ノ四及ヒ見積書ニ於テ牛舎ヲ全部移轉スルトキハ乳牛收容ノ儘移轉スルヲ得サルヲ以テ假牛舎建設ニ對スル移轉損失補償額ヲ金六百參拾貳圓六拾四錢トシ運動場設置費額ヲ金七拾五圓拾錢トシ煙突建設費額ヲ金拾貳圓六拾錢トシ内假牛舎取毀材料價格金貳百拾六圓ヲ差引クモノトシ庭園及ヒ生垣等ノ移轉費額ヲ金參拾五圓ト申立テ右雙方ノ申立ニ對ナカラサル差違アルモ

(一) 收用スヘキ賃借權二十八坪四合九勾ニ對スル損失補償料ハ建物(居宅)坪數十三坪二合五勾ニ對スル移轉損失補償料ニ包含スルモノト爲ス起業者ノ申請ヲ適當ナルモノトス

(二) 本件建物ノ使用狀態ヲ案スルニ居宅牛舎牛乳搾取場乳牛飼養ノ場所ナ一棟ノ内ニ設置シ一團トシテ使用スルモノナルニ付若シ起業者申請ノ如ク其一部ヲ分割スルトキハ從來使用シタル目的ニ供スルコト能ハサルモノト認メ合坪數四十四坪ノ移轉ヲ要スルモノトシ此損失補償額ヲ居宅十三坪二合五勾ニ對シ一坪ニ付金拾五圓計金百九拾八圓七拾五錢トシ牛乳搾取場(含ム)及ヒ牛舎合坪數

三十坪七合五勾ニ對シ一坪ニ付金五圓計金百五拾參圓七拾五錢トシ尙牛舎移轉中ハ一時假牛舎ノ建設ヲ要スルモノトシ此坪數ヲ二十七坪トシ此建設費補償料ヲ一坪ニ付金九圓計金貳百四拾參圓トス

其他地上物件中移轉損失補償額ヲ杉生垣(長サ九尺)一個所ニ對シ金五圓四拾錢門木造(長サ一圓)一個所ニ對シ金壹圓竹垣木戸共(長サ三圓)一個所ニ對シ金貳拾錢石造築山附屬植木類竝ニ池ニ對シ金八圓四拾錢トシ尙植木大小取交セ四本ニ對シテハ移轉ヲ要スルモノトシ此移轉損失補償額ヲ金四拾錢トシ運動場ニ對シテハ移轉補償ヲ要セサルモノトス又賃借權及ヒ物件所有者小深仁三郎代理人天野大藏ハ同意見書中ニ於テ種々陳述スル所アルモノトシ説明スルノ要ナキモノトシ本會ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ地上物件移轉ニ要スル時日ヲ見積リ主文ノ通り決定ス

明治四十四年五月二十日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

裁 決 書

起 業 者

右 代 表 者

土 地 所 有 者

橫 濱 市

橫濱市長 安 藤 謙 介

神奈川縣橋本郡保土ヶ谷町岩間二千番地 荒 波 孫 四 郎

抵當權者
右代表者

神奈川縣橫濱市野毛町三丁目百二十三番地
株式會社養老貯蓄銀行
頭取 岡野欣之助

主文

右當事者間ニ於ケル收用審査會裁決申請ノ件逢審査裁決スルコト左ノ如シ
一、收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申立ノ通り
一、土地損失補償價格ハ起業者申立ノ通り
一、收用ノ時期ハ大正四年六月十四日トス

事實

起業者申立ノ要旨ハ其經營ニ係ル水道擴張事業ニ要スル左記土地ノ權利取得ニ關シ土地所有者及ヒ關係人ニ協議ヲ爲シタルモ孰レモ協議不調ニ歸シタルヲ以テ本會ノ裁決ヲ求ムト謂フニ在リ
橫濱市久保町地内

字名	地番	地目	公簿面積	實測面積及ヒ	損失補償見積額
鹽田	九一ノ一	田	内畦畔 〇四一五 坪	九〇〇七九 坪	六〇〇〇 圓
同	九二ノ一	宅地	一〇一〇〇〇 坪	一〇一五五三 坪	六〇〇〇 圓
					五四四二五四 圓
					六〇九三二八 圓

土地所有者及ヒ關係人ハ土地收用法第二十五條ノ期間内ニ意見書ヲ提出セス

理由

起業者ノ裁決申請ハ適法ニシテ其收用スヘキ土地ノ區域ハ事業ノ性質上實地ニ徴シ又其損失補償價格ハ收用地附近ニ於ケル通常賣買價格竝ニ四圍ノ情況ニ鑑ミ起業者申立ノ通り適當ト認ム而シテ收用ノ時期ハ起業者申立ハ大正四年五月十三日ナルモ既ニ經過セシヲ以テ更ニ之ヲ決定シ主文ノ如ク裁決ス

大正四年六月七日

裁決書

起業者

右代表者

土地所有者

抵當權者

右代表者

抵當權者

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事 石原健三

橫濱市長 安藤謙介

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町岩間二千二十番地
川本忠藏

同縣橫濱市平沼町三丁目三十四番地

株式會社神奈川縣農工銀行

頭取 福井直吉

同縣鎌倉郡戸塚町戸塚二十六番地

株式會社戸塚銀行

右代表者

頭取 内山敬三 耶

主文

- 一、收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申立ノ通り
- 一、土地損失補償價格ハ起業者申立ノ通り
- 一、收用ノ時期ハ大正四年六月十四日トス

事實

起業者申立ノ要旨ハ其經營ニ係ル水道擴張事業ニ要スル左記土地ノ權利取得ニ關シ土地所有者及ヒ關係人ニ協議チナシタルモ孰レモ協議不調ニ歸シタルヲ以テ本會ノ裁決ヲ求ムト謂フニ在リ

横濱市久保町地内

字名	地番	地目	公簿面積	收用面積	損失補償見積額
鹽田	八三ノ一	田	内畦畔 一四〇〇 〇〇二五	一五四七六	六〇〇〇
					九八五六

土地所有者及ヒ關係人ハ土地收用法第二十五條ノ期間内ニ意見書ヲ提出セス

理由

起業者ノ裁決申請ハ適法ニシテ其收用ス可キ土地ノ區域ハ事業ノ性質上實地ニ徴シ又其損失補償價

格ハ收用地附近ニ於ケル通常賣買價格並ニ四圍ノ情況ニ鑑ミ起業者申立ノ通り適當ト認ム而シテ收用ノ時期ハ起業者申立ハ大正四年五月十三日ナルモ既ニ經過セルヲ以テ更ニ之ヲ決定シ主文ノ如ク裁決ス

大正四年六月七日

神奈川縣收用審査會會長

神奈川縣知事 石原健三

收用審査會ノ裁決ヲ受ケタルモノハ以上列記ノ十一件ナリ而シテ此裁決ニ依リ補償金額ヲ受領スルモ物件ノ移轉ヲ爲サ、ルモノ一件又補償金額ノ決定ニ對シ不服アリテ裁判所ニ出訴シタルモノ二件アリ前者ニ對シテハ工事施行上支障尠カラサルヲ以テ行政執行ノ申請ヲ爲シタリ左ノ如シ

土地收用法ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル者ニ對シ執行ノ儀申請

明治四十四年一月九日附ヲ以テ交付相成候收用審査會裁決書謄本ニ基キ左記ノ土地及ヒ地上物件所有者ニ就キ補償金ヲ拂渡シタル處收用ノ時期ハ本年一月二十八日ヲ以テ滿了シタルニ拘ラヌ右義務者ニ於テハ未タ地上物件ノ移轉ヲ爲サス爲ニ工事施行上支障尠カラヌ候間土地收用法第七十三條ノ御執行ヲ仰キ度別紙補償金額收證謄本相添此段申請候也

明治四十四年三月九日

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝 田 又 七

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平 殿

記

都筑郡西谷村川島字向臺

六百三十六番畑一反七畝二十四步

六百三十四番畑三反四畝九步

六百三十五番畑一反一畝二十四步

六百三十七番畑八畝九步

六百三十八番畑八畝三步

六百三十九番畑一反二畝二十四步

右土地所有者

橋樹郡保土ヶ谷町佛向三百八十五番地

正福院住職 山 本 快 雄

物件所有者

同 郡同 町同

同 人

同 郡同 町同五百九十七番地

山 本 勝 五 郎

同 郡同 町坂本百八十五番地

大 塚 熊 藏

(別紙省略)

右ニ對スル命令

邊第二七號

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝 田 又 七

橋樹郡保土ヶ谷町佛向三百八十五番地正福院住職山本快雄同郡同町同字五百九十七番地山本勝五郎同郡同町字坂本百八十五番地大塚熊藏ハ其所有ニ係ル都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番六百三十四番六百三十五番六百三十七番六百三十八番六百三十九番畑地内ニ植付タル物件ノ移轉ヲ明治四十四年三月二十六日迄ニ完了シ同時ニ土地ノ引渡ヲ爲スヘキ筈ノ處其義務ヲ履行セサルヲ以テ土地收用法第七十三條ニ依リ本官ニ代リ強制執行ヲ爲スコトヲ得若シ妨害行爲ヲ爲ス者アラハ所轄警察署ニ届出テ保護ヲ受クヘシ

明治四十四年四月四日

神奈川縣知事男爵 周 布 公 平

然レトモ本件ハ終ニ強制執行ヲ爲サス即チ所有者ニ於テ之ヲ取拂ヒ以テ落着ヲ告ク
ルニ至レリ

元來右正福院所有ノ土地ニ對シテハ其地ノ水道用地トシテ收用サル、モノナルヲ知
リテヨリ其所有者及ヒ小作人等ニ於テ種々劃策スル所アリ矮少ナル苗木類ヲ無數ニ
植付ケ又苺、百合等ヲ一面ニ栽培スル等專ラ補償金額ノ多キヲ貪ラント企テタルモノ
ニシテ桑苗、苺等ニ對シテハ前掲裁決書ノ如ク其目的ヲ達シタルモ獨リ百合ニ對シテ
ハ何等補償ヲ得ル處ナカリシナリ此ヲ以テ右物件ノ所有者タル山本勝五郎ハ其證據
ヲ保全シ置キ民事訴訟ヲ提起セム目的ニテ辯護士ヲ代理人トシ横濱區裁判所へ左ノ
申請ヲ爲シタリ

證據保全申請

申請人

橋樹郡保土ヶ谷町佛向五百九十七番地
山本勝五郎

辯護士

横濱市太田町四丁目七十五番地
佐々木周八

被申請人

神奈川縣横濱市

右代表者

横濱市參事會
横濱市長 荒川義太郎

申請ノ理由

申請人ハ都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番、六百三十七番、六百三十四番ノ土地ヲ所有者正福
院ヨリ賃借シ百合植付ヲ爲シ居候

被申請人横濱市ハ水道擴張ノ事業ヲ企テ從テ前記土地收用ノ必要アリト認メ本年一月七日付ヲ以テ
神奈川縣收用審査會ノ裁決ヲ經テ收用ノ時期ヲ本年一月二十八日ト定メ之ヲ收用致候然ルニ申請人
所有ノ前記百合ニ對シテハ其後何等ノ通知ナキヲ以テ本年一月二十七日申請人ヨリ其筋ニ對シ收用
請求ヲ爲シタル次第ニ候

被申請人横濱市ハ之ニ應セス本年二月九日付ヲ以テ之カ移轉方申傳へ加之被申請人横濱市ハ神奈川
縣知事ニ對シ土地收用法第七十三條ニ依リ處分方申請シタル趣ニテ同知事ハ本月二十一日付ヲ以テ
申請人ニ對シ前記物件ヲ本月二十六日迄ニ移轉スル事若シ之ニ應セザルトキハ該物件ハ横濱市チシ
テ自由ニ處分セシムル旨命令ヲ爲シ來レリ而カモ申請人ハ之ニ應セザリシヲ以テ横濱市ハ一二日內
ニ土地ヲ擱上ケ工事ヲ開始スル趣ニ候

然リト雖モ元來右ノ百合ナルモノハ移轉ニ付一定ノ時期アルモノニシテ毎年十月頃ヲ除キテハ移轉
シ能ハサルモノニ付結局土地收用法第五十一條末項ニ依リ收用セラルヘキ種類ノモノニ有之候然ル

ニ横濱市カ之ヲ收用セスシテ處分セムトスルハ極メテ不當ト思料仕候依テ申請人ハ横濱市ニ對シ收用竝ニ補償ノ請求ヲナサムトスルモ如何セム右ノ百合ヲ掘返サレ候上ハ其損害ノ立證ヲ爲シ難ク候ニ付本訴提起前ニ於テ豫メ左ノ證據調施行相受度依テ本申請ヲ爲ス所以ナリ

申請ノ趣旨

(一) 檢 證

都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番、六百三十七番、六百三十四番土地ノ中百合植付ノ部分ヲ檢査シ一坪ニ付何程ノ百合アルヤヲ調ヘルコト

(二) 鑑 定

左ノ鑑定人ヲ訊問スルコト

横濱市根岸町二五五八植水會社員

鑑 定 人

大 槻 金 太 郎

訊問事項

一、都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番、六百三十七番、六百三十四番ニ植付アル百合ハ一株何程ノ價值ヲ有スルヤ

右申請候也

明治四十四年三月三十一日

右

佐々木周八

横濱區裁判所

監督判事 伊藤久次郎 殿

右ニ對スル裁判所ノ決定

明治四十四年(た)第一三號

決 定

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町佛向五百九十七番地

申 請 人

山 本 勝 五 郎

右 代 理 人

辯 護 士

佐 々 木 周 八

被 申 請 人

神奈川縣横濱市

右 代 表 者

横濱市參事會

横濱市長 荒 川 義 太 郎

右申請人代理人ヨリ爲シタル證據保全申請ハ其理由アルモノト認メ決定スルコト左ノ如シ

神奈川縣都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十六番、六百三十七番、六百三十四番ノ土地ニ存在スル百合ヲ横濱市カ採掘事實ニ付當裁判所ハ右現場ヲ檢證シ且同所ニ植付アル百合ノ價格ヲ大槻金太郎ヲシテ鑑定セシム

明治四十四年三月三十一日

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買収其他

横濱區裁判所

判事 高橋 其 三

斯クテ明治四十四年四月四日ノ期日呼出狀送達トナリ同日西谷村ニ於ケル現場ニテ
檢證及ヒ鑑定人ノ調査アリタリ

然レトモ本件ハ純然タル行政處分ニ屬スル事件ニ付若モ審査會ノ裁決ニ對シテ不服
ナル點アラハ内務大臣ニ訴願スヘク若シ又違法裁決ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリト
スルトキハ行政裁判所へ出訴ノ途アルノミ之ヲ民事裁判所へ出訴スルモ蓋シ管轄違
ナルニ終ルヘシ之カ爲カ爾來何等ノ申出モナク數年ヲ經過シタルモノナリ然ルニ大
正四年二月ニ至リ突如トシテ横濱區裁判所へ和解申立書ヲ提出セリ左ノ如シ

和解申立書

申立人

橋樹郡保土ヶ谷町佛向五百九十七番地

山本 勝 五 郎

横濱市

右市長

被申立人

安藤 謙 介

申立ノ趣旨

一、被申立人和解ノ爲メ御呼出ノ上ニテ和解ヲ申立ラレ度候

請求價格金四百四拾七圓五拾五錢

因タル事實

一、被申立人ハ水道擴張用地收用ノ際ニ於テ收用地神奈川縣都筑郡西谷村大字川島字向臺六百三十四
番ノ内畑四百八十二坪三合五勺、六百三十六番ノ内畑百八十三坪八合、六百三十七番ノ内畑二百六十
九坪二合三勺ニ申立人カ大正七年迄借地權ヲ得テ植付置キタル百合ヲ何等補償ナクシテ除去シ該
百合ヲ申立人ニ交付セサルハ勿論何等通知ナクシテ處分シ終リタルモノナリ

一、被申立人ノ所爲中栽培中ノ百合ヲ除去シタルハ或ハ不正行爲ナルヤ難計候得共之ヲ除去スル何等
所有者タル申立人ニ補償ヲ給セス且ツ除去シタル百合ハ申立人ノ所有ナルコト明白ナルニ申立人
ニ何等ノ處分通知ナクシテ之ヲ處分シ終リタルハ決シテ正當行爲ト認ムルコト能ハス
依テ申立人ハ被申立人ニ對シ損害補償ノ要求ヲ求ムル爲メ御廳ニ訴訟ヲ提起セムトスルモノニ御座
候

一、右ノ次第ナル處申立人ハ訴訟提起前一應和解ヲ試ミ度候間被申立人御呼出ノ上ニテ和解ヲ試ミラ
レ度候

右申立候也

大正四年二月五日

右

山本 勝 五 郎

横濱區裁判所

監督判事 團野新之殿

裁判所ハ和解期日ヲ大正四年二月十八日午前十一時ト定メ二月十三日期日呼出狀ヲ送達サレタリ然レトモ本市ハ此和解ニ應セスシテ當日闕席セリ
收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シ不服アリテ裁判所ニ出訴シタルモノニアリ左ノ如シ

(一) 訴 狀

原 告

神奈川縣保土ヶ谷町岩間二千番地

荒波孫四郎

同 所同字千七百二十八番地

右後見人 荒波イハ

横濱市福富町三丁目百八番地

右訴訟代理人 近藤網衛

横濱市長 横濱市 安藤謙介

被告 右代表者

土地收用補償金額不服ノ訴

請求ノ目的

一、神奈川縣收用審査會カ原告所有横濱市久保町鹽田九十一番イノ一田四畝十五歩ノ内畦畔十歩同所同字九十二番ノ一宅地百二坪ニ付收用ノ損失補償金價格ヲ金千百五拾參圓五拾七錢貳厘ト決定シタルヲ不服トシ

右金額ノ外更ニ金七百參拾八圓八拾五錢貳厘ヲ被告ニ於テ支拂ヲ爲スコト

請求ノ原因

被告ハ横濱市水道工事擴張ノ必要上原告所有ノ横濱市久保町字鹽田九十一番イノ一

一田四畝十五歩同畦畔十歩

同所九十二番ノ一

宅地百二坪

ヲ收用スル事ト相成タルモ收用價格ニ於テ原告ト協議相整ハサリシ爲メ被告ハ神奈川縣收用審査會ノ裁決ヲ求メタル處同審査會ハ前記第一ノ土地ニ對シ實測坪數九十坪七〇九ナリトシ一坪ノ損失補償見積金六圓總計五百四拾四圓貳拾五錢四厘トシ第二ノ土地ニ對シ實測坪數百一坪五五三ナリトシ一坪ノ損失補償見積金ヲ金六圓總計金六百九圓參拾壹錢八厘ト裁決ヲ爲シタリ

右裁決ノ價格ハ左ノ點ニ於テ不服ナリ
一、前記田ヲ實測坪數九十坪七〇九ト爲シタルモ右ハ公簿面記載ノ通り四畝十五歩即チ百三十五坪ニ有之候然シテ該土地ハ時價ニ於テ一坪金八圓ノ價格ヲ有シ居リ候ヲ以テ此ノ補償價格ハ金千八拾

圓ヲ相當トス

一、前記宅地ハ時價ニ於テ一坪金八圓ノ價格ヲ有シ居ルニ依リ此補償價格ハ金八百拾貳圓四拾貳錢四厘ヲ相當トス
以上二口合計金千八百九拾貳圓四拾貳錢四厘也ヲ被告ニ於テ補償スヘキ次第ナルニ同上審査會ハ二口合計金千五百拾參圓五拾七錢貳厘ヲ補償價格ト裁決シタルハ不當ニ有之候ヲ以テ原告ハ被告ニ對シテ右裁決補償金ノ外更ニ金七百參拾八圓八拾五錢貳厘ノ支拂ヲ求ムル爲メ本訴ニ及ヒ候也

一定ノ申立

被告ハ原告ニ對シ神奈川縣收用審査會ニ於テ原告所有ノ横濱市久保町字鹽田九十一番イノ一田四畝拾五歩ニ對スル收用補償金五百四拾四圓貳拾五錢四厘同所同字九十二番ノ一宅地百二坪ニ對スル收用補償金六百九圓參拾壹錢八厘ト裁決セラレタル金額ノ外更ニ前者ニ對シ金五百參拾五圓七拾四錢六厘後者ニ對シ金貳百參圓拾錢六厘合計金七百參拾八圓八拾五錢貳厘ヲ仕拂フヘシ
尙金千八百九拾貳圓四拾貳錢四厘ニ對スル本訴狀送達ノ日ヨリ辨濟ニ至ル迄年五分ノ損害利金ヲ附加シテ支拂フヘシ
訴訟費用ハ被告ノ負擔トストノ判決相成度候

附 屬 書

- 一、訴訟代理委任狀
- 一、戸籍抄本

大正四年六月二十一日

右 近 藤 綱 衛

横濱地方裁判所長

判 事 横 田 五 郎 殿

右ニ對シ裁判所ヨリ大正四年六月二十三日付ヲ以テ同年七月十七日午前八時ヲ口頭辯論ノ期日ト定メラレ民事部法廷ニ出頭スヘク答辯書ハ右訴狀送達ノ日ヨリ十四日ノ期間内ニ差出スヘキ旨ノ期日呼出狀及ヒ答辯書催告狀ノ送達アリタルモ本件ハ市制第四十二條ニ依リ市會ノ議決ヲ要スル義ニ付此等準備ノ都合モアリタルニ依リ答辯書差出期間ヲ同年七月三十日迄延期尙口頭辯論期日モ相當猶豫相成度旨裁判所へ申請スルト共ニ辯護士矢野祐義赤尾彦作ノ兩氏ヲ訴訟代理人ニ選定シ數回辯論ノ末大正六年三月二十九日判決言渡アリタリ左ノ如シ

判 決

原 告

神奈川縣橋本郡保土ヶ谷町岩間二千番地

荒 波 孫 四 郎

右法律上代理人

同 所千七百二十八番地

後 見 人 荒 波 伊 ハ

右訴訟代理人

同

被告

右法律上代理人

右訴訟代理人

同

辯護士	近藤 綱
辯護士	渡部 薫
辯護士	横濱 市
横濱市長	安藤 謙介
辯護士	矢野 祐義
辯護士	赤尾 彦作

右當事者間ノ大正四年(ワ)第一六六號土地收用補償金請求事件ニ付當裁判所ハ判決ヲ爲スコト左ノ如シ

主 文

原告ノ請求ハ之ヲ棄却ス
訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

事 實

原告訴訟代理人ハ一定ノ申立トシテ被告ハ原告ニ對シ金七百參拾八圓八拾五錢貳厘及ヒ之ニ對スル大正四年六月十五日ヨリ本判決執行濟ニ至ルマテ年五分ニ相當スル金額ヲ支拂フベシ訴訟費用ハ被告ノ負擔トストノ判決ヲ求メ其請求原因トシテ陳述シタル要旨ハ被告ハ横濱市水道擴張ノ必要上原告所有ノ横濱市久保町字鹽田九十一番イノ一田公簿面積四畝十五歩内畦畔十歩同所九十二番ノ一宅地公簿面積百二坪ヲ收用スルコトトナリタルモ其補償價格ニ付原告ト協議調ハサリシ爲メ被告ハ神奈川縣收用審査會ノ裁決ヲ求メタル處同審査會ハ大正四年六月七日前示各土地ノ實測坪數トシテ田

ヲ九十坪七合九才宅地ヲ百一坪五合五勺三才ナリトシ之ニ對スル損失補償トシテ其價格ヲ各坪六圓ノ割合ニ依ル合計金千五百拾參圓五拾七錢貳厘トシ其收用時期ヲ同月十四日ト裁決シタリ而シテ原告ハ同月七日右裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタリ然レトモ前示土地ハ何レモ收用當時ノ價格坪金八圓ニシテ而モ田ノ收用區域ハ公簿面積記載ノ通り四畝十五歩即チ百三十五坪ナルヲ以テ其價格ハ合計金千八百九拾貳圓四拾貳錢四厘ナリトス然ラハ收用審査會カ前示ノ如ク土地價格ヲ坪六圓トシ殊ニ田ノ坪數ヲ九十坪七合九才トシテ補償額ヲ量定シタルハ失當ナルヲ以テ其差額タル一定申立ノ金額及ヒ之ニ對スル收用時期ノ翌日ナル大正四年六月十五日ヨリ年五分ノ損害金ヲ求ムル爲メ本訴請求ニ及フト云フニ在リテ立證トシテ甲第一號證甲第二號證ノ一乃至三ヲ提出シ及ヒ本件土地ノ檢證及ヒ價格ノ鑑定ヲ求メ證人三田村寅吉ノ訊問ヲ申請シタリ

被告訴訟代理人ハ原告ノ請求ヲ棄却ストノ判決ヲ求メ其答辯トシテ大正四年六月十四日被告カ原告主張ノ如キ收用審査會ノ裁決ヲ經テ原告所有土地ヲ收用シタルコトハ之ヲ認ムルモ其補償額ハ時價相當ナルノミナラス右田ノ收用區域ハ裁決通り九十坪七合九才ナルヲ以テ之ニ對シ不服ヲ唱フル本訴請求ハ失當ナリト陳述シ甲第一號證ノ成立ヲ認メ之ヲ利益ニ採用シ甲第二號證ノ一乃至三ノ成立ヲ認メタリ

理 由

被告カ其經營ニ係ル水道事業擴張ノ爲メ大正四年六月十四日神奈川縣收用審査會ノ裁決ニ基キ原告所有ノ横濱市久保町字鹽田九十一番イノ一田及ヒ同所九十二番ノ一宅地ヲ各坪六圓ノ割合ニ依ル補償額ヲ以テ收用シタルコトハ當事者間ニ爭ナキ所ナリ而シテ原告ハ被告ノ收用シタル右田ノ坪數ハ

公簿面記載ノ通り四畝十五歩即チ百三十五坪ナルニ之ヲ九十坪七合九才トシテ其補償額ヲ量定シタル本件裁決ハ失當ナリト主張スルモ成立ニ争ナキ甲第一號證ニ依レハ被告カ收用シタル田ノ區域ハ四畝十五歩即チ百三十五坪ニアラスシテ却テ九十坪七合九才ナルコトヲ確認シ得ヘキノミナラス之ヲ證人三田村寅吉ノ被告カ本件裁決ヲ申請スルニ當リ右土地ヲ實測シタル際之ニ立會ヒタル原告代理人山田某ニ於テ其境界及ヒ坪數ニ付キ異議ヲ止メサリシ旨ノ證言ニ徴スレハ右九十坪七合九才ハ原告ノ所謂公簿面積四畝十五歩ノ實測坪ナルコトヲ推認シ得ク從テ甲第二號證一乃至三ノ本件裁決申請通知書ニ於ケル田四畝十五歩ノ如キ畢竟收用土地表示ノ便宜上其公簿面積ヲ記載シタルニ止リ同面積ヲ收用ス可キ趣旨ニアラサルコトヲ認ムルニ十分ナルヲ以テ此點ニ關スル原告ノ右主張ハ理由ナシ

次ニ原告ハ本件收用當時ニ於ケル右土地價格ハ坪八圓ナリト主張スルモ鑑定人三輪鉦吉、花上光賀、鴨田清俊等ノ各鑑定ノ結果ヲ綜合スレハ收用當時ニ於ケル本件土地價格ハ坪六圓ト認ムルヲ相當トス可ク從テ右ト同額ノ割合ニ依リ本件土地ノ損失補償額ヲ量定シタル收用審査會ノ前示裁決ハ正當ナリ

叙上ノ理由ニ依リ本訴請求ノ理由ナキコト明瞭ナルヲ以テ訴訟費用ノ負擔ニ付キ民事訴訟法第七十二條第一項第二百三十一條第二項ヲ適用シ主文ノ如ク判決シタリ

横濱地方裁判所第一民事部

裁判長判事

判事

豐水 道雲
平山 慎英

右正本ナリ

大正七年三月二十九日

判事 稻本 縣

(二) 訴 狀

原 告

辯 護 士

右 代 理 人

被 告

右 代 表 者

損失補償請求事件

請求ノ目的

一金九百貳拾八圓五拾九錢六厘

右金額ノ支拂ヲ求ム

請求ノ原因

一、原告ハ横濱市久保町字鹽田八十三番ノ一田一反四畝十歩内畦畔二十五歩ヲ所有シ居リ候處被告ハ

第三編 第二擴張工事 第四章 土地買収其他

四九三

於同裁判所
裁判所書記

寺 田 晴 雄

川 本 忠 藏

神奈川縣橋樹郡保土ヶ谷町岩間二千二十番地
横濱市花咲町二丁目二十一番地

片 山 藤 平
横 濱 市
安 藤 謙 介
横濱市長

損 失 補 償 金

水道擴張事業ノ爲メ前記土地ノ内百五十坪七合六勺六才ヲ收用致候

二、被告ハ前記ノ收用地ニ對スル損失補償トシテ縣收用審査會ニ於テ裁決シタル一坪金六圓宛ノ割合ニ依ル合計金九百貳拾八圓五拾九錢六厘ヲ拂渡ノ爲メ該金ヲ橫濱支金庫ニ供託シ其旨通知シ來リタルモ右損失補償額ハ甚メ不當ニシテ而モ一坪金拾貳圓宛カ相當價格ナルニ付原告ハ意外ノ損失ヲ被ムル次第ナルヲ以テ是カ補償ヲ求ムルカ爲メ不得已本訴及提起候也

一定ノ申立

一、被告ハ原告ニ對シ金九百貳拾八圓五拾九錢六厘ヲ支拂フヘシ

訴訟費用ハ被告ノ負擔トストノ判決相受度候

證據方法

一、口頭辯論ニ於テ隨時提出可致候

附屬書類

一 訴訟代理委任狀 一通

大正四年九月十三日

右

片山藤平

橫濱地方裁判所長

判事 横田五郎殿

右ニ對シ裁判所ヨリ大正四年九月十七日附ヲ以テ同年十月十四日午前九時ヲ口頭辯論ノ期日ト定メラレ民事部法廷へ出頭スヘク答辯書ハ右訴狀送達ノ日ヨリ十四日ノ

期間内ニ差出スヘキ旨ノ期日呼出狀及ヒ答辯書催告狀ノ送達アリタルモ前同様市會ノ議決ヲ要スヘキヲ以テ是等準備ノ爲メ答辯書差出期間ヲ同年十月三十日迄伸長シ從テ口頭辯論期日モ相當猶豫アリタキ旨裁判所へ申請スルト共ニ前項荒波孫四郎ノ分ト密接ノ關係ヲ有スル事件ナルカ故ニ是亦前同様辯護士矢野祐義、赤尾彦作ノ兩氏ヲ訴訟代理人ニ選定セリ然ルニ本件ニ關スル收用審査會ノ裁決書謄本交付ハ大正四年六月八日付ニシテ本訴提起ハ同年九月十三日ナルヲ以テ土地收用法第八十二條ニ規定スル三箇月ヲ經過シ出訴ノ効力ヲ失フニ至リ妨訴ノ抗辯ニ依リ本事件終了ヲ告ケタリ

斯ノ如ク荒波孫四郎ノ分ハ收用審査會ノ裁決額ヲ正當トシ川本忠藏ノ分ハ大正四年十月三十日ノ口頭辯論ニ於テ出訴ノ効力ナシトシ訴狀却下セラレ二件共ニ本市ノ勝訴ニ歸セリ

收用審査會ノ裁決ヲ求メシ事件ハ右記載ノ外ニ多數アリタレトモ申請後協議調ヒシ爲メ取下ケタルヲ以テ裁決ヲ經タルモノハ畢竟以上記載ノ分ノミナリキ

土地ハ實際必要トスル部分ノミ收用シタルヲ以テ西谷淨水場或ハ青山沈澱池ノ如キ

廣潤ナル場所ノ外ハ概ネ各筆毎ニ殘地ヲ生スルハ免レサル所ニシテ土地利用上其所
有者ハ之カ爲メ多少ノ損害ヲ蒙ルヘキモ殘地ニ對シテハ一切之ヲ補償セス但シ其土
地ノ實際上損害著明ナルモノ且ツ面積ノ小ナルモノニ在リテハ例外トシテ補償スル
ノ必要ヲ認メタリ其補償標準左ノ如シ

- 一、殘地ヲ收用スル場合ハ用地ト同一單價トス
 - 二、殘地ノ損害ヲ補償スル場合ニハ用地收用補償額ノ半額以内トス
 - 三、殘地ノ損害ヲ補償シタル上ハ其土地ニ對シ若シ工事中損害ヲ被ラシムルコトアル
ルモ一切苦情ナシトノ約束ヲ爲スコト
- 而シテ殘地ニ對シ補償セシモノ左ノ如シ
- 一、收用セシモノ

郡市町村名	字	地番	地目	反別	摘要
横濱市西戸部町	横 枕	一、四五七〇	宅地	二三五	
同	一本松	八三三イノ一	田地	三三五	
同	浅間町	五五四ハ	宅地	〇七八	
津久井郡中野村	上森戸	二四四ノ一	畑	〇二五	

二、殘地ノ損害ニ對シ補償セシモノ

郡市町村名	字	地番	地目	反別	摘要
横濱市西戸部町	西ノ原	一、一五五ノ四	宅地	三三八	
都筑郡都岡村	上川井、坂下谷	八六一イノ二	畑	八三九	
同	同	八六二イノ二	山林	二〇四〇	
同	同	八六八イノ一	畑	五〇八	
同	同	二、三七七イノ二	同	四六四二	
同	同	二、三七六イノ二	同	三八七九	
同	同	二、三七四イノ二	同	二七五七	
同	同	二、三七三イノ二	同	一七三一	
同	同	二、三七二イノ二	同	三三三〇	
同	同	五〇五ロノ一	同	三三一〇	
川井、三ツ家	同	同	同	同	

第二節 土地、道路、河川使用

本章第一節記載ノ土地收用法施行令第三條ニ依ル土地調書中第一號ノ御料地ニ付テハ借用願ヲ提出ス左ノ如シ

御料地借用願

神奈川縣津久井郡中野村菅ノ澤御料地 二千八番ノ内

一、山林四畝二十七步二六

但シ此地下ヲ貫通スル隧道ニ使用スルモノニシテ地下二百八十尺乃至三百五十尺ノ個所ニ於テ高サ十尺幅二間長サ七十三間六二ヲ借用セムトスルモノ別紙圖面ノ通（圖面省略）

右本市水道擴張導水隧道ニ當リ候ニ付右隧道存續期間無料ニテ御貸與ヲ受ケ度別紙圖面相添此段相願候也

明治四十四年五月三十一日

横濱市參事會

水道事務分掌者 朝 田 又 七

帝室林野管理局

東京支廳長 鹽 澤 健 殿

之ニ對スル承認書

業第一〇一八ノ五

横濱市參事會

水道事務分掌者 朝 田 又 七

相模國津久井郡中野村字菅ノ澤御料地内

一、隧道 長七十三間六二高サ十尺幅二間

存續期間 無料使用

右明治四十四年五月三十一日付出願ノ趣承認候條左記ノ通り心得ヘシ

明治四十四年八月十四日

帝室林野管理局東京支廳長

帝室林野管理局主事 鹽 澤 健

一、隧道開鑿工事着手及ヒ竣功ノ節ハ其旨當廳八王子出張所へ届出ツヘシ
右ニ對スル請書

請書

菅ノ澤御料地

津久井郡中野村字菅ノ澤

一、拜借地四畝二十七步

長七十三間六二 高十尺 幅二間

此拜借期間 水道存續期間

但無料

右ハ明治四十四年八月十四日業第一〇一八ノ五號ヲ以テ使用御承認相成候ニ就テ
ハ別記ノ條項堅ク遵守可仕仍テ請書差上候也
明治四十四年八月十六日

横濱市參事會

水道事務分掌者 朝 田 又 七

帝室林野管理局東京支廳長

帝室林野管理局主事

鹽 澤

健 殿

請書中遵守スヘキ條項ノ大要

一、皇室ノ御用途管理局事業上ノ必要及ヒ直接公用又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業
ノ爲メ御入用ノ節ハ御達ノ通り返地スル事

二、將來法令等ノ結果ニ依リ御料地ニ於テ公租其他ノ公課ヲ負擔セララルトキハ本
市ニ於テ使用地ニ屬スル分ノ負擔ヲ爲スコト

津久井郡中野村中野神社及ヒ稻荷神社境内地下ヲ城山隧道敷地トシテ第一回四十坪
第二回十六坪六合買收ノ必要アルモ買收ヲ爲ス能ハサル事情アルヲ以テ之ヲ永久使
用スルコトトシ此使用料合計金貳百八拾參圓ヲ同社へ交付シ契約書ヲ徵收シタリ左
ノ如シ

契 約 書 (第一回)

一金貳百圓也

右ハ別紙調書ノ土地地下ヲ横濱市水道用ノ爲メ使用ニ付横濱市ヲ第一當事者神社

側ヲ第二當事者トシテ本契約ヲ締結シ雙方各一通ヲ保有シ保證人ハ連帶シテ本契約ヲ確保ス

一、第一當事者ハ隨時隨意ニ別紙調書ノ土地地下ヲ永久使用スルモノトス
二、本日受渡ヲ了シタル使用料ハ永久使用ニ對スル補償ニ付將來何等ノ名義ニ於テモ第二當事者ヨリ第一當事者ニ對シ之ニ關聯シテ金品交付ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

三、第一當事者ノ地下ニ於ケル設備ニ危害ヲ及ホスヘキ恐アル地表ニ於ケル各種ノ作業又ハ設備ハ絶對ニ之ヲ避クヘシ萬一右ノ恐アル事ヲ第一當事者ヨリ第二當事者ニ通告シタル場合ハ第二當事者ノ費用ヲ以テ遲滯ナク之ヲ取除キ又ハ停止スル事ヲ要ス若シ之ヲ怠リタルトキハ第一當事者ニ於テ隨意ニ處理シ第二當事者ヨリ相當ノ損害賠償ヲ受クルモノトス

四、本契約ノ目的地所有權カ第三者ニ移轉スル場合ハ之ニ對シ本契約ヲ追及スルコトヲ第二當事者ニ於テ確保スルモノトス

明治四十三年七月三十日

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝 田 又 七

津久井郡中野村五百七十八番地

中野神社社掌 相 川 正 麿

津久井郡中野村五百四十九番地

氏子總代兼保證人 山 本 九 郎 兵 衛

津久井郡中野村五百二十八番地

同 山 本 由 藏

津久井郡中野村二百二十六番地

同 甘 利 吉 太 郎

契 約 書 (第二回)

津久井郡中野神社所有地使用ニ關シ横濱市ト中野神社ト左ノ契約ヲ爲スモノトス
一、中野神社ハ同社所有ニ係ル別紙土地ノ地下ヲ横濱市水道用ノ爲メ同市へ永久使用セシムルモノトス

二、横濱市ハ前記土地ニ對スル永久ノ使用料トシテ金八拾參圓ヲ中野神社ヘ一時ニ仕拂フモノトス

三、中野神社ハ使用地内ニ於ケル工作物ニ危害ヲ及ホスカ如キ設備ハ絶對ニ之ヲ避クヘキハ勿論横濱市ヨリ右ノ恐アルノ通告ヲ受ケタル時ハ遲滞ナク之ヲ取除キ又ハ停止スル事ヲ要ス若シ之ヲ怠リタルトキハ同市ニ於テ隨意ニ之ヲ處理スルモ異存ナキノミナラス之ニ對シテハ相當損害賠償ノ責ニ任スルモノトス

四、中野神社ハ第一項土地ニ對シ將來何等ノ名義ヲ以テスルモ金品ノ交付ヲ請求セサルノミナラス右土地ノ所有權ヲ他ニ移轉スル場合生シタルトキハ第三者ヲシテ本契約ヲ履行セシムルノ義務ヲ有スルモノトス

五、保證人ハ連帶シテ本契約ヲ保證スルモノトス

本契約書ハ二通ヲ作り雙方一通ヲ領置スルモノトス

大正五年三月二十九日

横濱市長 安藤謙介

津久井郡中野村五七八番地

中野神社社掌 相川 績

同 郡同 村七七八番地

氏子總代兼保證人 佐藤伊太郎

同 郡同 村五六六番地

同 大塚善吉

同 郡同 村三七八番地

同 大谷敬助

津久井郡太井村ヨリ横濱市ニ至ル導水及ヒ配水線路内ニ介在スル關係村費支辨ノ里道及ヒ水路敷内ニ永久無償ニテ鐵管埋設ノ承認ヲ得タルモノ左ノ如シ

郡名	町村名	番承認書	承認年月日	備考
津久井郡	川尻村	川第一七七號	大正三年三月二十七日	
高座郡	田名村	田庶第四九一號	大正元年十二月二十五日	條件付
同	溝村	溝第六七三號	同年九月四日	

高座郡	麻溝村	麻庶第六六〇號	大正元年十二月六日
同	新磯村	新發第一、〇〇〇號	大正二年四月二十三日
同	大野村	大庶第六四五號	同 年十月十二日
同	大和村	大和庶第六五號	同 年五月七日
東京府南多摩郡	南村	庶第二五三號	大正元年十二月五日
鎌倉郡	瀬谷村	瀬第一八八號	大正二年四月二十四日
都筑郡	都岡村	都發第七三五號	同 年十二月二十八日
同	西谷村	組發第六九號	大正三年一月二十四日
橋樹郡	保土ヶ谷町	土第三五號	大正二年七月三十一日

右ノ内田名村ヲ除クノ外ハ全部無條件ニシテ田名村ノ條件左記ノ如シ

- 記
- 一、使用スル里道ノ位置ハ本村地内字鹽田原一、〇一五五番イノ二地先ヨリ字清水原
 - 二、一八八番ノ一地先ニ通スル横濱市水道用地カ里道敷地ヲ横斷スル箇所トス

二、道路使用ハ現形ノ儘鐵管布設ニ供スルノ外他ノ目的ニ使用シ又ハ使用權ヲ他人ニ移轉シ若ハ擔保貸付ニ供スルコトヲ得ス

三、鐵管布設後ハ道路ヲ直ニ原形ニ復スルコト且ツ其費用ハ使用者ニ於テ負擔スルコト

四、鐵管埋設ノ爲メ他ノ物件ニ損害ヲ及ホシタルトキハ使用者ニ於テ辨償セラル、コト

五、使用ノ爲メ其工事中交通上又ハ公衆ノ妨害ト爲ラムコトヲ發見シタルトキハ當役場ハ直ニ豫防又ハ中止ヲ命シ其費用ハ總テ使用者ノ負擔トス
法律勅令ノ施行及ヒ公益上必要ト認ムルトキハ何時ニテモ無償ニテ此條項ヲ増減變更シ又ハ使用ヲ停止若ハ禁止スルコト

田名村長 大谷仁三郎

津久井郡太井村地内ニ介在スル里道及ヒ水路竝ニ共有地使用ニ對スル覺書左ノ如シ
横濱市水道擴張工事ノ爲メ太井村ト協定スルコト左ノ如シ

第一 横濱市ハ太井村ノ里道及ヒ水路ヲ左ノ通り無償ヲ以テ使用スルモノトス

計	壬	同	同	同	同	戊
	一、二七四ノ一	五八四〇ノ三	五八四〇ノ二	五八四ハノ五	五八四ハノ二	五八四ハノ二
	秣	同	畑	秣	同	畑
	場			場		
		三九〇〇	四五〇〇	五七九九	三〇〇〇	六九二
						八六一
						四、三二二五二

第五 以上賣買土地ニ存在スル地上物件補償料ハ字壬千二百七十四ノ一秣場三十九坪ニアルモノヲ除クノ外總テ前記賣買ノ代價中ニ包含スルモノトス

第六 前記地上物件ハ賣主ニ於テ來ル大正三年三月三十一日迄ニ伐採スルモノトス但シ其樹木ノ根部ハ掘取去ル可カラサルモノトス
但シ取拂期間ト雖モ工事上支障アル時ハ横濱市ノ通知ニ依リ直ニ異議ナク取拂フモノトス

第七 前記地上物件ノ伐採期限ヲ經過シタルトキハ横濱市ハ隨意ニ之ヲ處分スヘシ

シ此場合ニ於テ其處分ニ對シ一切賣主ハ苦情ヲ唱フルコトヲ得サルモノトス

第八 横濱市ハ前記里道等ヲ使用シ工事ヲ施行スルニ當リ太井村共有地内或ハ使用以外ノ道路ニ多少ノ土砂崩入ルコトアルモ太井村ハ豫メ之ヲ承認シタルモノトス但シ横濱市ハ充分ノ注意ヲ以テ工事ヲ施行スルモノトス勿論之カ爲メ樹木又ハ農作物ニ損傷ヲ與ヘタルトキハ相當ノ補償ヲ爲ス可キモノトス

第九 太井村ハ前記工事ノ爲メ自然一時通行ヲ妨ケラレ又渡船業者ニ影響スルコトアルモ一切太井村ニ於テ處置シ横濱市ニ何等申出ツルコトナキモノトス勿論横濱市ハ出來得ル限リ支障少カラシムル様注意スヘシ

第十 横濱市ハ今回ノ買受地五百八十四番ハノ一秣場四千三百三十五坪中ニ存在スル私有道路ニ則リ其場所ニ幅員三尺ノ土地ヲ私有道路敷ト爲シ置キ永久公衆ノ通行ニ供スヘキモノトス

第十一 太井隧道上口ト城山隧道下口トノ間ニ横濱市ニ於テ設置シタル放水路ハ舊水路ノ地點ニ近キ場所ヘ設置替ヲ爲スヘキモノトス
但シ鐵管布設後直ニ實行スルモノトス

第十二 横濱市水道工事實施ニ當リ横濱市ト太井村地内ノ一個人トノ間ニ若シ交
 涉事件發生シタルトキハ太井村ハ相當ナル斡旋ノ勞ヲ辭セサルモノトス
 本覺書ハ二通ヲ作製シ雙方一通ツツヲ領置スルモノナリ
 大正二年十二月十八日

津久井郡中野村外三個村

組合長

角 田 福 三

然ルニ前項覺書中第一ノ内壬千二百四十二番ノ二ヨリ同千二百五十六番ノ二地先ニ
 至ル幅員六尺延長百間ノ道路ハ有期無償使用ノ契約ナリシカ將來之ヲ永久無償使用
 スルノ必要ヲ生シ太井村ニ交渉ノ末復舊費トシテ金貳百圓ヲ交付シ復舊工事ノ一切
 ヲ處理セシムル事トセリ其覺書左ノ如シ

覺 書

津久井郡太井村地内ノ里道復舊竝ニ使用ニ關シ横濱市ト太井村ト左ノ通り協定ス
 ルモノトス

第一條 横濱市ハ津久井郡太井村字壬千二百四十二番ノ二ヨリ同千二百五十六番

ノ二地先ニ通スル別紙里道延長百間ニ對スル復舊費トシテ金貳百圓ヲ太井村ヘ
 仕拂フモノトス

第二條 太井村ハ前記金額ヲ以テ復舊工事ノ一切ヲ處理シ該工事ニ對シテハ今後

横濱市ニ代リ其責ニ任スルモノトス

第三條 横濱市ハ前記里道ニ埋設シアル鐵管及ヒ施設ノ竝ニ水道線路保持ノ
 爲メ該里道ヲ永久無償ヲ以テ使用スルモノトス

第四條 横濱市ハ支障ナキ限り前記里道使用期間中ハ該里道ニ接續ノ水道線路ヲ
 公衆ヲシテ通行セシムルモノトス

但シ耕作用手車ノ外荷牛馬諸車ノ通行ヲ除クモノトス

第五條 本覺書ハ二通ヲ作り雙方一通ヲ領置スルモノトス

大正六年四月九日

右代表者

横濱市長

安 藤 謙 介

津久井郡太井村

右代表者

中野村外三個村組合長

角

田

福

三

高座郡大澤村内里道ノ内延長八百七間餘ニ水道鐵管ヲ埋設スルコトトナリ種々交渉ノ結果同村長ト左ノ如ク契約セリ

契 約 書

横濱市參事會水道事務分掌者朝田又七ト大澤村長山口金作ト大澤村里道使用ニ關シ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 横濱市ハ現ニ水道導水管布設シアルモノノ外今回ノ擴張工事竝ニ唧筒上用水ノ水道導水管布設ノ爲メ高座郡大澤村ノ里道ヲ使用スルモノトス

但シ其區域ハ田名村村界ヨリ川尻村村界迄別紙圖面ノ通りトス(圖面ハ之ヲ略ス)

第二條 横濱市ハ道路添ノ土地ヲ買入レ道路ヲ擴張スルコトヲ得可シ但シ其工費ハ横濱市ノ負擔トス

第三條 横濱市ニ於テ導水管ノ布設ヲ了リタルトキハ其擴張ノ部分ハ道路敷トシテ上地シ而シテ其道路ハ現在道路敷ノ程度ニ則リタル道路ト爲シ以テ大澤村ニ引繼クヘキモノトス

第四條 横濱市ニ於テ工事ヲ爲ス場合ニハ工地上爲シ得ル限り通行ノ便宜ヲ圖ルヘキモノトス

第五條 大澤村ハ排水上ノ必要ヲ生シタルトキハ横濱市ト協議ノ上本件ノ道路ヲ横切リ適當ノ工事ヲ爲スヘキモノトス

第六條 横濱市ハ使用道路補償トシテ金壹千圓ヲ大澤村ヘ支拂フヘキモノトス

第七條 工事終了後ノ道路修理ハ大澤村ノ負擔トシ之カ保全ニ任スヘキモノトス但シ水道ニ原因スル破損若ハ導水管ニ關スル工事ノ爲メ道路ヲ掘鑿シタル場合ハ横濱市ノ負擔トス

第八條 大澤村ハ本件道路使用ニ關シ沿道住民等ヨリ一切苦情ヲ申立ツルカ如キコトナカラシムヘシ

右契約ノ證トシテ本書二通ヲ作成シ雙方各一通ヲ保有スルモノナリ
明治四十四年七月十九日

横濱市參事會水道事務分掌者

横濱市水道局長 朝 田 又 七

高座郡大澤村長 山口 金 作

前項關係町村内ニ於テ水道線路内ニ介在スル縣費支辨ニ係ル道路水路堤塘敷内ニ無料ヲ以テ鐵管ノ埋設方ヲ所轄官廳ニ申請シ許可ヲ得タルモノ左ノ如シ

高座郡田名村地内

大字	所	在	地	番	名稱	個數	使用幅	區域長	摘要
田名	下四ツ谷	在	地	四、七三〇番イノ二地先 三、一九七番ノ二地先	支辨里道	一	十八尺	六尺	相原、伊勢原間里道

同郡溝村

大字	所	在	地	番	名稱	個數	使用幅	區域長	摘要
上溝	甲一四號 甲一號	在	地	八三四番イノ三 四一番イノ二地先	支辨里道	一	十七尺	六尺	溝、座間間里道
同	甲二號	在	地	二九六番イノ二地先 二九六番イノ二地先	假定縣道	一	十八尺	六尺	埼玉往還

同郡大和村

大字	所	在	地	番	名稱	個數	使用幅	區域長	摘要
下鶴間	甲三號	在	地	六一九番ロノ二地先	水路	一	十五尺	六尺	境川水底部使用

同	同	同	同	同	堤塘敷	一	九尺	十二尺	同
同	同	同	同	六一三番イノ二地先 六一一番ロノ二地先	支辨里道	一	二十一尺	六尺	大和、藤澤間里道

備考 境川ハ川幅三十尺ナレトモ半部ハ東京府ノ管理ニ係ルヲ以テ幅十五尺ト掲記ス

都筑郡都岡村地内

大字	所	在	地	番	名稱	個數	使用幅	區域長	摘要
今宿	鶴ヶ嶺	在	地	一、二六九番イノ二地先	水路	一	四十二尺	三十六尺	帷子川橋梁架設
同	前山	在	地	一、五六四番ノ三地先	同	一	三十尺	六尺	同 水底部使用
同	同	在	地	同 番	堤塘敷	一	九尺	九尺	同
同	同	在	地	一五三番イノ二地先	水路	一	十五尺	十八尺	同 橋梁架設
同	同	在	地	同 番	堤塘敷	一	九尺	十八尺	同
同	同	在	地	一五七番ロノ二地先	同	一	九尺	十八尺	同
下川井	下宿	在	地	一三四番ノ二地先	水路	一	十五尺	六尺	帷子川支流水底部使用
川井	宿三ツ家	在	地	四八八番ノ三地先 四九八番ノ三地先	同	一	十五尺	六尺	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
坂下谷	市坂	耕地	大東	同	同	同	同	同	同
八六一番イノ三 八六二番イノ二	二〇三番イノ二	一、一一番イノ二	二、五二九番ロノ二	二、五二九番ノ二	二、四〇〇番ノ二	二、四〇〇番ノ二	二、四〇〇番ノ二	二、四〇〇番ノ二	二、四〇〇番ノ二
同	假定縣道	水路	堤塘敷	水路	堤塘敷	堤塘敷	堤塘敷	堤塘敷	堤塘敷
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	三	十五	六	六	十二	十二	十二	十二	十二
尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
九十尺	二百十尺	六尺	九尺	九尺	六尺	六尺	六尺	六尺	六尺
同	甲州街道	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

橋樹郡保土ヶ谷町地内

下星川	帷子	同	同	同	同	同	同	同	同
榎戸	川邊	榎戸	榎戸	榎戸	榎戸	榎戸	榎戸	榎戸	榎戸
三〇五番イノ二	八六八番同	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二	八六八番イノ二
同	堤塘敷	水路	假定縣道	二號國道	二號國道	二號國道	二號國道	二號國道	二號國道
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	六	三十六	八	六	六	六	六	六	六
尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
二十四尺	二十四尺	二十四尺	間一七十九分	間七十五分	間七十五分	間七十五分	間七十五分	間七十五分	間七十五分
同	同	帷子川橋架設	甲州街道	舊東海道	舊東海道	舊東海道	舊東海道	舊東海道	舊東海道
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

右ニ對スル指令書左ノ如シ

神奈川縣指令内土第七一二號

横濱市

大正元年八月十七日附申請水道鐵管布設ノ件許可ス

但シ左ノ通り心得ヘシ

大正元年十月三日

神奈川縣知事 大島久滿次

- 一、工事ハ創竣共其時々當應及ヒ所轄警察署へ届出ツヘシ
- 二、工事竣功ノ上ハ當應ノ検査ヲ受クヘシ
- 三、工事ハ申請書添付ノ書類及ヒ圖面ノ通り施行スヘシ
- 四、工事道路ニ在リテハ片側往來ニ支障ナキ様相當ノ設備ヲ爲シ又河川ニ在リテハ舟筏等ノ通航ニ支障ナカラシムヘシ
- 五、道路其他ノ掘鑿跡ハ原形ニ復シ尙道路ニ在リテハ其上層面ニ厚サ二寸多摩川砂利若ハ之ニ相當スル良質ノ砂利ヲ敷キ突固ムヘシ

大正元年九月十八日附申請官有堤塘竝ニ水路敷へ鐵管埋設ノ件聽届ク
但シ左記ノ條項遵守スヘシ

大正二年六月九日

東京府知事 宗 像 政

記

- 一、許可ノ位置ハ南多摩郡南村大字鶴間字十號竝ニ十一號地先堤塘竝ニ水路敷ニシテ申請書添付圖面ノ區域トス(圖面ハ之ヲ省ク)
 - 一、工事ハ八王子土木事務所ノ指揮監督ヲ受クヘシ
 - 一、水路埋設ノ個所ハ凡テ水底ヨリ二尺以下トシ堤塘掘鑿埋設ノ際ハ充分搗固メノ上原形ニ復シ法面ハ凡テ張芝ヲ爲スヘシ
 - 一、殘土ヲ生シタル時ハ直ニ支障ナキ個所ニ取片付ケ落成後ト雖モ埋設ハ爲メ堤防ニ破損又ハ水路ニ支障ヲ來タシタル時ハ直ニ修理スヘシ
- 都筑郡都岡村上川井字日原耕地三百三十六番地先ヨリ同坂下谷八百二十六番地先ニ至ル里道ハ所々水道線路内ニ介在シ鐵管布設工事中ハ一時通行禁止セサルヘカラス

然ルニ日々此道路ヲ通行スル馬力業者竝ニ荷車業者ニシテ道路ニ接シ居住スル者ニ在リテハ其間他ニ車馬ノ置場ヲ設備セサルヘカラス又一般通行者ニ在リテハ他ノ道路ヲ迂回セサル可カラス然レトモ一時假道路ヲ築造スルトキハ多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ同村へ損害金ヲ交付シ解決スル事トセリ其覺書左ノ如シ

覺書

- 一、貴市ニ於テ豫テ御使用ノ當村上川井字日原耕地三百三十六番地先ヨリ同坂下谷八百二十六番地先ニ通スル里道ハ貴市水道鐵管布設工事中通行ニ障害ヲ及ホス事本村ニ於テ承諾セシ所ナリ
- 二、前項損害ノ爲メ村民ノ蒙ムル損害賠償トシテ貴市ヨリ本村へ金百八拾圓御支拂アルヘキモイトス
- 三、都岡村地内ニ於ケル道路又ハ水路へ鐵管布設ノ件ハ本村ニ於テ承認スヘキモノトス但シ其工事ニ付テハ出來得ル限り通行ノ障害ヲ少カラシムル様注意アリタキコト

大正元年十二月二十八日

都筑郡都岡村長 齋藤彌市郎

都筑郡西谷村川島字向臺ナル西谷淨水場ノ放水路ハ同場ノ北方ニ在ル細流ヲ改修シ帷子川支流ヘ放流スルモノニシテ不定ノ時間ニ多量ノ水ト時ニハ尠カラサル土砂トヲ流下セシムルヲ以テ西谷村ノ承諾ヲ得ルコト容易ナラサリシモ數次交渉ノ結果左ノ如ク承認ヲ得ルニ至レリ

一、放水路ハ横濱市ニ於テ改修シ或ハ取擴ケヲ爲スノ必要ヲ認メタルトキハ隨意ニ其工事ヲ爲スコトヲ得此工事及ヒ其設計等ニ關シ西谷村ハ何等異議ヲ容ル、コトナシ

一、右工事ノ爲メ里道ヲ横斷スル個所ニハ車馬ノ通行ヲ爲シ得ヘキ限リノ設備ヲ爲シ其保持ハ横濱市ノ負擔トス

一、横濱市ヨリ照會中ノ里道變更及ヒ使用ノ件ヲ承認スルハ勿論將來モ工事ノ爲メ里道使用ノ必要ヲ生シタルトキハ西谷村ハ速ニ之ヲ承認スルモノトス

一、放水路設置又ハ里道變更使用ニ關シ西谷村ハ種々利害アルヘキヲ承認シタルモノトス右等ノ點ニ關シ將來横濱市ニ何等異議ヲ唱フルコトヲ得ス

一、横濱市ハ右等ノ補償トシテ西谷村ニ金壹千圓ヲ支拂フ可シ
大正三年一月十九日

二俣川村外一個村 組合長 島崎房三郎

都筑郡西谷村川島字向臺西谷淨水場ニ通スル舊厚木街道ヲ運搬道路トシテ幅二間ヲ三間ニ取擴ケ延長四百十七間ノ無償使用ニ關シ關係町村タル保土ヶ谷町及ヒ西谷村ヘ交渉シ左ノ條件ノ下ニ明治四十三年十月二十八日附(西谷村)及ヒ同年十一月十六日附(保土ヶ谷町)ヲ以テ承諾ヲ得タリ

一、道路ノ延長ハ四百十七間ニシテ幅三間ニ改修スルコト

二、改修ニ要シタル土地ハ道路敷トシテ上地スルコト

三、改修ニ要スル費用ハ勿論將來ノ保持費ハ一切横濱市ニ於テ負擔スルコト

都筑郡二俣川村西谷村組合長 杉山吉五郎

橋樹郡保土ヶ谷町長 金子泰吉

市街配水鐵管敷設ノ爲メ市内民有地ヲ無償ニテ使用ノ承諾ヲ得タルモノ左ノ如シ

使用箇所	年承月日諾	土地所有者	摘要	使用箇所	年承月日諾	土地所有者	摘要
浅間町	大正二年 六、一九	洪福寺	無條件	三吉町	大正二年 七、二〇	山本彦太郎	無條件
同	同	荒井忠次郎	同	浅間町	同	外岡カメ	同
同	同	鈴木政吉	同	同	六、一九	小島政五郎	同
同	同	荒波ハナ	同	南太田町	同	鹽原又策	同
同	同	石井トヲ	同	同	七、四	石井之つ	同
同	同	綿貫音次郎	同	浅間町	大正三年 三、一一	三村庄右衛門	同
同	同	鈴木義郎	同	千歳町	大正二年 七、二二	渡邊和太郎	同
同	同	茂木惣兵衛	同	同	同	大西秀治	同
同	同	大谷嘉兵衛	同	同	同	徳川頼倫	同
同	同	上郎清助	同	同	同	箕田長三郎	同
同	同	田澤喜左衛門	同	同	同	同	同
同	同	吉田勘兵衛	同	同	同	同	同
同	同	石渡市兵衛	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同

南太田町	大正三年 一〇、一五	大須賀鎌吉	無條件	神奈川町	大正三年 一〇、三〇	古平啓作	無條件
西戸部町	同	川本祐藏	同	同	同	横濱電気鐵道 株式會社	同
青木町	同	加藤八郎右衛門	同	同	九、一五	同	同

右ノ内箕田長三郎氏ノ條件左ノ如シ

承諾書 (一)

自分所有ノ横濱市日出町三丁目七十四番地内別紙略圖(省略)ノ私道敷へ内徑六吋ノ水道鐵管布設ノ件左記條件ヲ附シテ承諾候也

- 一、横濱市日出町三丁目七十四番地内ノ私道ヲ後日拙者ニ於テ廢止若ハ移動スル節ハ貴局ハ要求ノ日ヨリ三十日以内ニ布設水道鐵管ヲ移轉或ハ撤去スヘキコト
- 其費用ハ總テ貴局ノ負擔タルヘキコト
- 二、埋設水道鐵管萬一漏水、噴水、破裂等ノ爲メ損害ヲ與ヘタルトキハ貴局其責ニ任シ賠償セラルヘキコト
- 三、水道鐵管ノ布設ヲ終リタルトキハ其個所ヲ能ク地固メシ其上砂利ヲ敷延シテ道

路ヲ修理スルコト

四、私道内ノ既設下水其他水道管、瓦斯管等ニ支障ナキ様水道鐵管ヲ布設スルコト若シ工事ノ爲メ支障及ヒ損害ヲ生シタルトキハ貴局ハ其責ニ任シ賠償セラルヘキコト

承諾書 (二)

自分所有ノ横濱市南太田町字東耕地二千八百八十七番口號外ニ二千二百六番ノ合併地及ヒ日出町二丁目三十四、三十二、五十七番地ノ別紙略圖(省略)ノ私道敷へ内徑十八吋ノ水道鐵管布設ノ件左記條件ヲ附シテ承諾致候也

一、横濱市南太田町二千八百八十七番口號並ニ二千二百六番合併地ノ地先ニ沿ヒタル道路ノ地脚ニ施シアル木柵、土留ヲ今後石垣ニ改造方市土木課へ出願ノ場合ニハ貴局ニ於テ相當御盡力アルヘキコト

二、通稱急坂ト前項道路ノ分岐點並ニ該道路ト接續シテ旭橋ニ通スル私道ノ分岐點ニハ此際貴局ニ於テ石垣築造御計畫ノ由ニ付テハ其中間ニ於テ今後埋設水管ニ基因シ道路ヲ破壊シタル場合鐵管ノ保存上危險ヲ認メラレタル時ハ石垣ニ改造

セラレタキコト

三、私設道路内ニ既設ノ下水其他水道管、瓦斯管等ニ支障ナキ様水道鐵管ヲ埋設ノコト萬一其工事ノ爲メ支障及ヒ損害ヲ生シタルトキハ貴局ハ其責ニ任シ賠償セラレタキコト

四、水道鐵管ノ布設ヲ終リタルトキハ其個所ヲ能ク地固メシ其上砂利ヲ敷延シテ道路ヲ修理スルコト

五、布設ノ水道鐵管萬一漏水、噴水、破裂等ノ爲メ損害ヲ與ヘタルトキハ水道局ハ其責ニ任シ應急ノ施設ヲ爲スハ勿論更ニ損害賠償セラルヘキコト

以上長期ニ渉ル借入土地ノ外假事務所、假公舎、鐵管類其他諸材料置場等ニ充ツル爲メ約三十餘個所ニ於テ短期借入土地總坪數二萬三千九百六十三坪ニ對シ賃借金貳萬四千七百七拾壹圓七拾六錢(地上物件ノ補償共)ヲ要シタリ而シテ此等土地借入ニ付テモ亦困難ヲ極メタリシカ就中導水管及ヒ配水管布設工事ノ爲メ掘鑿土塊置場トシテ高座郡大澤村ヨリ本市ニ至ル水道線路兩側民有地幅員六尺乃至十二尺ノ土地ヲ短期借入ルルノ交渉ハ工事施行上其借入ヲ急キシヲ以テ土地買收ニ比シ大ニ苦心スル所アリ幸ニ工事

ノ進捗ヲ妨ケス且ツ圓滿ニ協定ヲ遂ケ得タリシハ土地買収當時ニ援助セラレシ諸彦
ノ盡力ニ依ルモノ多カリキ借入使用土地(地上物件ノ補償共)左ノ如シ

使用土地

總面積二萬三千百九十一坪五勺

此土地及ヒ地上物件補償

金七千參百六拾壹圓五拾八錢

内譯

郡市別	町村別	地目	坪當	坪數	金額	筆數	人員
高座郡	大澤村	畑	1.00	461.00	691.00	2	2
同	同	山林	4.00	220.80	890.30	1	1
同	同	墓地	1.15	251.00	357.60	4	4
同	同	同	1.00	110.00	239.00	1	1
同	同	同	1.00	560.80	560.80	3	3
同	同	同	1.10	110.00	440.40	9	9
同	同	同	1.15	190.00	285.00	2	2
同	同	同	4.00	1,075.40	4,517.00	8	8
同	同	同	4.00	432.00	432.00	3	3

郡市別	町村別	地目	坪當	坪數	金額	筆數	人員
高座郡	田名村	畑	3.60	951.70	3,433.50	6	6
同	同	同	3.60	971.30	3,668.60	6	6
同	同	同	3.50	1,053.60	3,685.60	6	6
同	同	同	3.60	850.00	3,060.00	1	1
同	同	同	3.60	2,400.00	0.910	1	1
同	同	同	3.60	850.00	3,060.00	1	1
計				22,927.10	1,130,660.00	150	79
高座郡	如	畑	3.50	688.90	2,410.30	3	3
同	同	同	3.00	1,017.00	3,051.00	5	5
同	同	同	3.50	920.00	3,220.00	1	1
計				2,987.50	1,083,740.00	200	94

地役權設定證書

承役地所有者鮑子定藏ハ要役地所有者タル横濱市ヨリ對價トシテ一時金五拾圓ヲ受領シ地役權ヲ設定スルコト左ノ如シ

第一條 要役地所有者ハ要役地ニ建設セル家屋ノ爲メ其家事用水及ヒ雜用水ヲ承役地ヨリ引用スルモノニシテ其目的地左ノ如シ

要役地 神奈川縣津久井郡串川村青山字鮑子平三千七百四十四番イノ一

一 水道用地(元山林)三反一畝八步

承役地 同所三千七百八十九番

一 宅地反別 三百六十坪

同所三千七百八十八番

一 畑 同 七畝十九步 内畦畔 十三步

同所三千七百四十番

一 畑 同 一反四畝四步 内畦畔 六步

同所三千七百四十一番

一 畑 同 二反十九步 内畦畔 六步

同所三千七百四十三番

一 山林同 一反三畝二十一步

第二條 用水ハ承役地ナル三千七百八十九番地内ニ現在スル呼井戸(通稱樋水)ヨリ

竹又ハ其他ノ材料ヲ以テ各承役地ニ工作物ヲ設置シ以テ要役地ニ通水スルモノ

トス其範圍ハ別紙圖面ノ通り幅六尺延長百四十三間トス(圖面省略)

第三條 承役地所有者ハ三千七百八十九番土地ノ呼井戸ヨリ三千七百四十番ノ地

内迄相當ノ設備ヲ以テ送水シ地役權者ノ設置スル工作物ト接續シ需要ヲ全ウセ

シムルノ義務ヲ負擔スルモノトス

第四條 承役地所有者ハ現在ノ呼井戸ヲ廢止スルコトヲ得ス又地役權者ノ承諾ヲ

得スシテ其構造ヲ變更スルコトヲ得サルモノトス

第五條 承役地所有者ハ呼井戸ノ保持及ヒ送水ノ設備ニ關シ最善ノ注意ヲ以テ故

障ナカラシムルノ義務ヲ有ス故意又ハ怠慢ノ爲メ地役權者ノ需要上支障ヲ生シ

タルトキハ損害賠償ノ責アルモノトス

第六條 地役権者ハ三千七百四十番及ヒ三千七百四十三番ノ承役地内ニ引用水道
工事ヲ爲スニ當リ承役地所有者ハ何等苦情ナキハ勿論之カ爲メ農作物等ニ損害
ヲ生スルモ其賠償ヲ要求スルコトヲ得サルモノトス將來之ヲ修繕スルトキ亦同
シ但シ不時ノ場合ヲ除クノ外成ルヘク農作物ノ被害ナキ十一月ノ交ヲ以テ修繕
スルモノトス

第七條 前條ノ工事ハ此際直ニ着手シ遲滞ナク竣功セシムルモノトス

第八條 以上記載ノ外ハ地役権者ニ關スル民法ノ規定ヲ遵守スルモノトス
右地役権設定證書如件

津久井郡串川村青山三千七百八十九番地

大正三年五月十五日

承役地所有者 鮑子定藏

津久井郡串川村青山派出所構内ノ諸用水トシテ在來使用ノ水源ハ近年著シク減水シ
夏季ニ至リテハ全ク涸渴スルノ状態ナルヲ以テ同季節ニハ常ニ沈澱池ノ水ヲ酌ミ上
ケ補給ヲ爲シ來リタルモ斯クテハ多額ノ勞費ヲ要シ且ツ不便尠シトセス依テ右減水
補給トシテ更ニ同村字月夜野三千四百十一番地先ノ水路ヲ水源トシ同所ヨリ小野澤

林五郎外一名ノ所有地ニ水管ヲ埋設シテ導水スル事トシ其經過地ニ對シ將來ノ爲メ
地役権設定證書ヲ徵シ大正五年八月二十五日右權利取得ノ登記ヲ爲セリ

地役権設定證書

承役地所有者小野澤秋藏、小野澤林五郎ハ要役地所有者横濱市ノ爲メ左ノ通り地役
権ヲ設定スルモノトス

一、要役地所有者ハ要役地内ニ於ケル水道派出所存在中其家事用竝ニ雜用水ヲ津久
井郡串川村青山字月夜野三千四百十一番地先ノ水路ヲ水源トシテ承役地ヲ經由
水管ヲ埋設シ導水スルモノニシテ其目的地左ノ如シ

要役地 津久井郡串川村青山字山王久保三千四百八十八番ノ二

一、水道用地六畝五步

同所三千四百八十一番ノ二

一、同 五畝二十九步

同所三千四百八十九番ノ二

一、同 五畝二步

津久井郡串川村青山字山王久保三千四百七十八番

一、水道用地一畝歩

同所三千四百七十九番

一、同 二十四歩

同所三千四百八十番ノ一

一、同 十七歩

承役地

小野澤秋藏所有ニ係ルモノ

所在地	地番	地目	反別	坪使	用	範	園
津久井郡串川村青山字山王久保	三、四四九	宅地	五八〇〇〇	坪數	五	分	十間
同	三、四五〇	畑	〇〇八九	坪數	五	分	十間
同	三、四四三ノ一	山林	内畦畔 〇〇一八 〇六五	坪數	五	分	五間

小野澤林五郎ノ所有ニ係ルモノ

所在地	地番	地目	反別	坪使	用	範	園
津久井郡串川村青山字山王久保	三、四〇八	原野芝地	〇三二	坪數	三	分六厘	二十六間五分
同	三、四四六ノ一	山林	〇七三	坪數	八	〇〇	五
同	三、四四五	原野芝地	〇二七	坪數	二	五〇〇	五
同	三、四四四	畑	〇二四	坪數	〇	五〇〇	一
同	三、四八三	宅地	二〇〇〇〇	坪數	一	〇〇〇	二十間
同	三、四八二ノ一	畑	内畦畔 〇一〇三 反 一五二五	坪數	一	四〇〇〇	二十八間

二、要役地所有者ハ無報酬ヲ以テ第一項承役地ニ鐵管其他ノ材料ヲ以テ導水ノ設備ヲ爲スモノトス其使用ノ範圍ハ別紙圖面ノ通りトス(圖面省略)

三、要役地所有者ハ前項ノ設備費竝ニ將來ノ維持費ヲ負擔スルモノトス

四、承役地所有者ニ於テ飲用ノ爲メ現ニ第一項水路ヨリ引用シアルモノ竝ニ將來同水路ヨリ引用ノ必要生スル場合ニ於テモ要役地所有者ノ需用ヲ満たシ然ル後自己ノ需用ニ充ツ可キモノナルヲ以テ之ニ反スル行爲ハ絶對ニ避クルモノトス

五、承役地所有者ハ同地内ニ埋設ノ工作物及通水ニ支障ナキ限リハ其地表ノ耕作ヲ爲スコトヲ得然レトモ故意怠慢等ニ依リ地下ノ工作物竝通水ニ支障ヲ來タシタルトキハ損害賠償ノ義務ヲ有スルモノトス

六、要役地所有者ハ通水ノ設備竝ニ將來修繕等ノ爲メ必要ニ應シ承役地内ニ立入り作業ヲ爲スモ承役地所有者ハ何等苦情ナキハ勿論之カ爲メ農作物等ニ損害ヲ生スルモ其賠償ヲ要求セサルヲ以テ不時ノ場合ヲ除ク外ハ農作物ノ被害最モ少キ十一月ノ交ヲ以テ修繕ヲ爲スモノトス

七、前項新設工事ハ此際直ニ着手シ遲滯ナク竣工セシムルモノトス

八、以上記載ノ外ハ地役權ニ關スル民法其他ノ法律規則ニ從フモノトス

右地役權設定證書如件

大正五年八月一日

津久井郡串川村青山三千四百五十六番地

承役地所有者 小野 澤 秋 藏

同 郡同 村同 三千四百八十三番地

承役地所有者 小野 澤 林 五 郎

津久井郡串川村青山字匏子平地内ニ於ケル水道取入口工事及其他諸工事施行ニ對シ同部落へ金百圓ヲ交付セリ同村長ノ提出シタル覺書左ノ如シ

證

當村字匏子地内ニ於ケル道志川右岸及ヒ之ニ接スル川敷ニ於テ今般貴市水道取入口工事及ヒ附帶諸工事施行ニ付特ニ同部落へ金壹百圓寄贈セラル、事ヲ了知候ニ付テハ之ヲ同部落へ適當ニ交付シ且ツ將來同部落一同ノ者ヲシテ該諸工事ニ對シ故障ヲ申立テ又ハ損害賠償ヲ要求スル等ノ事無之様取計可申候爲後日一札如件

大正三年一月二十五日

津久井郡串川村

村 長 武 内 榮 太 郎

津久井郡三ヶ木村地内被害ニ對シ三ヶ木村有地外四十二名ノ所有土地被害者ヨリ同村字上河原地内ノ田畑原野等ノ既往ニ於ケル水害ハ明治四十年八九月ノ出水當時本市ニ於テ施設シタル水道線路防禦工事ニ起因ストノ理由ヲ以テ相當補償ヲ情願シ來

リタルモ本市ハ前記工事ハ被害ニ何等關係ナシトシ情願書ヲ却下スルト共ニ之ニ代フルニ本市ハ明治四十二年度以降水道擴張工事所要ノ野面石、玉石、砂利、砂ヲ同村字上河原ノ積地ヨリ採取シ且ツ將來該土地ノ水害等ヲ豫想シ其代償トシテ金八百圓ヲ被害者ヘ交付シ本事件ノ解決ヲ告ケタリ其當時取交シタル契約書左ノ如シ

契約書

横濱市ヲ甲トシ津久井郡三ヶ木村及ヒ同村武内榮太郎外四十一人ノ地主ヲ乙トシ此兩者間ニ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 甲ハ明治四十二年度以降水道工事材料トシテ野面石、玉石、砂利及ヒ砂ヲ三ヶ木村字上河原ニ於ケル乙所有ノ土地ヨリ任意ニ採取シ且ツ將來該土地ノ水害等ヲ豫想シ其代償トシテ金八百圓ヲ支拂ヒ乙ハ之ヲ受領セリ

第二條 乙ニ於テ前條ノ土地所有權ヲ他ニ移付スル場合ニハ當時此契約ヲ繼承セシムルノ義務アルモノトス

第三條 此契約締結ニ付テハ甲ハ横濱市參事會ノ議決乙ハ三ヶ木村會ノ議決ヲ經タルモノニシテ又梶野宏三ハ武内榮太郎外四十一人ノ代理人タルヲ認メタリ

右契約書ハ二通ヲ作成シ甲乙各一通ヲ保有スルモノナリ

明治四十二年十二月二十九日

横濱市水道局長 朝 田 又 七

三ヶ木村代表者兼地主武内榮太郎外四十一人ノ代理人

中野村外三ヶ村組合長

梶 野 宏 三

擴張工事實行ノ後ハ津久井郡ニ種々ナル不利ヲ及ホストノ理由ヲ以テ津久井郡各村長及ヒ個人連合シテ縣知事ヘ情願書ヲ提出セルヲ以テ内務部長ヨリ左ノ通り通牒アリタリ

明治四十三年一月中津久井郡内郷村長等ヨリ横濱水道擴張工事ニ關シ別紙寫ノ通り情願書提出有之候處今般左記ノ者共當廳ニ出頭申立ノ次第モ有之候條相當御處理相成候様致度依命此段通牒候也

津久井郡内郷村長 山 口 芳 太 郎

津久井郡參事會員 馬 場 健 二

情願書

津久井郡會議員 佐藤 太一郎

當津久井郡ノ面積ハ小ナラスト雖モ其大部分ハ山林原野ニシテ耕地乏シケレハ一般郡民ハ農ヲ以テ本業ト爲スカ如シ然レトモ農業ノ收入ノミヲ以テ輓近過重ノ公課ヲ負擔シ生計ヲ營ムコト能ハサレハ造林及ヒ道志相模兩川ノ水利ニ據リ木材ノ運搬竝漁業等ヲ重ナル副業トシ粒々辛苦漸クニシテ生活スル其狀態ノ悲慘ナル筆舌ヲ以テ盡スコト能ハサル所以ナリトス聞ク所ニ據レハ横濱市ニ於テハ近キ將來ニ於テ水道擴張事業ヲ經營シ而シテ其水源ヲ道志川ニ決セラレタリト果シテ然ラハ現在既ニ水量減少シ舟筏ノ通行ヲ妨止シ漁獲ノ減シツ、アル有様ナルニ拘ラス猶亦分水引用セラル、トキハ流水涸渴シテ舟筏ノ流通ヲ杜絶シ延テ山林ノ價格ヲ低減シ又魚族ノ繁殖ヲ妨ケ從テ漁業ノ收入ヲ減シ郡民ノ副業ヲ減殺奪取セラル、ニ至ル横濱市ノ水道擴張カ如何ニ公益事業ナリト雖モ之カ實施セラル、ニ於テハ當郡民カ將來益々悲境ニ沈倫スルハ火ヲ視ルヨリモ明カナレハ地方牧民ノ任ニ在ラセラル、賢明仁慈ナル知事閣下ハ宜シク當郡民困難ノ實情ヲ洞察セラレ之カ救

濟ノ方法ヲ講セラレムコトヲ茲ニ連署ヲ以テ情願仕候也

津久井郡内郷村長 山口 芳太郎

外二十三名連署

右情願書記載ノ事項ハ悲觀的想像ニ過キスシテ今現ニ然リト謂フニ非ラサルヲ以テ工事施行後幾多ノ歲月ヲ經事實ノ有無ヲ調査スルノ外處理ノ途ナク尙連署者ノ内佐野川、吉野、小淵、日連、小原ノ各村ノ如キハ何レモ道志川ニ關係ナキ村落ナルノミナラス道志川ニ關係アル村落ト雖モ果シテ村民全體ヲ代表セル情願ナリヤ否不明ナルモノアリ依テ本通牒ハ此儘領置スルコトト爲セリ

收用ヲ要スル土地ニシテ其所有者ヨリ寄附ノ申出アリ之ヲ受領シタルモノ左ノ如シ

郡市町村名	字	地番	地目	反別	寄附者氏名
横濱市西戸部町	西ノ原	一、五七〇ノ内	畑	〇八三	大谷嘉兵衛
同	小松原	七一〇ノ内	山林	一四〇	茂木惣兵衛
同	同	七三八ノ内	宅地	一三〇	
津久井郡中野村	上奈良井	一、一七七	山林	六〇七	久保田喜右衛門

津久井郡太井村	乙	二〇二ノ内	畑	九四〇	久保田喜右衛門
同	同	二〇三ノ内	同	八三三	長谷川安藏
同	同	二〇四ノ内	同	七八四	久保田喜右衛門
同	同	二〇六ノ内	同	五六〇	長谷川安藏
同	同	二六三ノ内	同	六四五	柏木雪次郎
同	同	二四八ノ内	同	九五九	久保田喜右衛門
同	同	二四九ノ内	同	一五三〇	長谷川安藏
同	同	二五二ノ内	同	三二八	柏木雪次郎
同	同	三、七二七ノ内	山林	六七〇	久保田喜右衛門
津久井郡串川村青山	大岩下	三、七四四ノ内	同	七二〇	長谷川安藏
同	匏子平				梅澤泰助

第五章 工事ノ顛末

本擴張事業費ハ前節記載ノ如ク當初金七百萬圓ナリシカ之カ實施ニ際シ設計當時ニ比シ勞銀ノ昂騰、工事用材料價格ノ變動、隧道地質軟弱ノ爲メ煉瓦卷厚サノ増加及ヒ諸

種ノ工事其他ニ就キ増減ヲ來シ其總額ニ於テ最初ノ豫算金額ニテハ不足ヲ告クルニ至リ已ムヲ得ス新ニ築造スヘキ濾過池八個ニ要スル濾過用砂利及ヒ砂ヲ五個分ノ購入ニ止メ殘餘ノ三個分ニ要スルモノハ之ヲ繰延ヘ後年使用水量ノ増加ニ伴ヒ市費ヲ以テ單獨ニ之ヲ負擔スルコトトシ該豫定代金及ヒ其運搬費金四萬參千四百五拾六圓餘ヲ補填スト雖モ尙且ツ金貳拾貳萬圓ノ不足ヲ來タスヘキヲ以テ大正三年二月十七日市會ノ議決ヲ經テ同年三月十二日總豫算増額竝ニ設計ノ一部變更ノ義内務大臣ニ申請シ其認可ヲ得タリ左ノ如シ

内務省神土第二七號

本年三月十二日水臨建第一二九七號申請水道擴張工事竝ニ工費豫算等變更ノ件認可ス

大正三年五月二十日

内務大臣伯爵 大隈重信

而シテ總豫算ニ比シ金貳千圓以上ノ工費ノ増減額ニ於テ減少スルモノ金五拾六萬千七百七拾圓ニシテ増加スルモノ金七拾八萬八千參百拾圓ナリ故ニ此差引増加即チ豫

二年二月一日ニ於ケル一秒時百二十立方尺ヲ以テ最少流量ト爲シタリシモ大正三年ノ夏季ニ至リ一層減水シ同年八月十二日ニ於ケル流量ハ僅ニ九十立方尺弱ニ過キサリキ而シテ本取入所ノ設計ハ堰堤ヲ築造セス單ニ川岸ニ開口シテ成ルヘク引水量ノ流入ヲ多カラシメ水量ノ調整ハ專ラ門扉ノ開閉ニ依ルコトト爲シタルヲ以テ水路ノ幅員ハ初メ十尺ヨリ漸次七尺ニ減縮シ稍々喇叭形ヲ爲シ五十五度ノ交叉角ヲ以テ左折シ青山隧道ニ連絡セシメタリ取入口前面ニハ檜角仕上ケ五寸八分ノ角落シヲ備ヘ其後部ニハ鋼鐵製外格子ヲ作リテ流木其他漂流物ノ流入ヲ防止シ次ニ表面石造裏面煉瓦造ノ門扉ヲ設ク壁ノ厚サハ下端五尺上端四尺トシ其下部ニ高サ七尺七寸ノ開口ヲ附シ此所壁面ニ接シテ英國ランソムスエンドラピア會社ノ製造ニ係ル「ストニー」式制水門ヲ裝置シ以テ河水ノ増減ニ拘ラス單ニ門扉ノ昇降ニ依リ所要水量ヲ流入シ得ヘカラシム而シテ門扉ハ幅十呎高サ七呎七上下動程八呎ニシテ軟鋼板ヨリ成リ壁内ニ取付ケタル兩枠内ニ存スル轆子ト門扉ノ反對側ニ懸垂セル對重トノ作用ニ依リ扉ノ前面ニ多大ノ水壓ヲ受クルモ上部ニ設置セル捲揚機ニ依リ能ク一人ノ力ヲ以テ容易ニ其開閉ヲ行フコトヲ得ルモノニシテ又門扉ノ後方ニ内格子ヲ設ケ小木片樹葉其

他ノ流下ヲ防遏シ其上部ニ鐵桁木橋ヲ架シ塵芥除去ノ作業ニ資シ之ヨリ下流ハ高サ幅共ニ七尺延長二十五尺ノ鐵筋混凝土造暗渠ニ依リ青山隧道ニ接續ス
水路敷ハ全部混凝土造ニシテ其標高ハ門扉前面ニ於テ海面上四百八十四尺五寸門扉敷居後面ニ於テ五寸ヲ低下シ之ヨリ隧道起點ニ至ル迄ヲ水平トシ門扉以下ノ左右壁ハ表面煉瓦積ノ混凝土造ニシテ取入所前面ノ上下翼壁ハ表面花崗石張混凝土造トシ其高サ水門敷上二十五尺ナレトモ下流翼壁ハ河心ニ向テ幅約八尺長サ十一尺高サ九尺五寸ノ突出部アリテ平水時ニハ突堤ノ用ヲ爲シ且ツ塵芥流水等ヲ排除シ角落シ入替等ノ操縦場ト成リ出水ノ際ニハ全部水中ニ沒シテ河水ノ漲流ヲ妨ケサルモノトス
上部翼壁ノ前面ハ垂直ト爲シ下流翼壁モ初メノ部分ハ垂直ナレトモ下流ニ延長スルニ從ヒ勾配ヲ附シ終ニ三分法ニ達シ同所ヨリ表面玉石張混凝土壁ト成リテ終點ニ至リ亦内格子附屬木橋ニ通スル爲メ石造階段ヲ設置ス取入所ノ上部山腹ハ地質脆弱ニシテ嘗テ岩石土砂ノ崩壞シタル如キ疑アル處ナルヲ以テ鐵筋混凝土造暗渠ノ前面ヨリ中央距離十五尺二寸ハ扇形ニ水路ノ上部ヲ被ヒ岩石土砂等ノ水路内ニ墜落スルコトナカラシメ床上ニハ厚サ約二尺九寸ノ盛土ヲ施シ其周圍ノ地盤モ共ニ一様ノ高サ

ニ敷均シヲ行ヒ其他山腹ハ高サ九尺乃至十四尺ノ玉石積凝土土留壁ヲ以テ之ヲ保護シ壁ノ一部ニ幅四尺五寸高サ六尺九寸奥行六尺六寸四分ノ煉瓦造番室ヲ設ケ暴風雨又ハ大洪水ノ際監視員等ノ一時休憩所ニ充テ壁ノ裾ニハ幅一尺五寸深サ七寸五分乃至一尺一寸ノ溝渠ヲ設ケ構内ニ聚落スル雨水ヲ河中ニ排出スルコトトセリ

本取入所ニ於ケル最大洪水位ハ最初標高五百五尺二四三ト稱セラレタルヲ以テ其壁高モ亦之ニ基キ五百七尺五ト定メ施工シタルニ工事中即チ大正三年八月十三日及ヒ同二十九日兩度ノ豪雨ハ實ニ道志川流域ニ於ケル未曾有ノ洪澇ヲ來タシ其水位ハ最高時ニ於テ標高約五百十三尺ニ達シ洪漲セシ河水ハ壁ヲ踰越シテ飛瀑ノ如ク門扉背面ノ水路内ニ浸入シ之ト同時ニ流木ハ環流ニ投シ瀑ト共ニ落下スルノ慘狀ヲ呈シタリ依テ之ニ鑑ミ川手側前面ニ花崗石張凝土造高サ十四尺乃至四尺其全長約百十尺六寸ノ欄干壁築造ノ追加工事ヲ施シ以テ洪水ノ浸入ヲ防キ且ツ波浪ノ飛沫壁裏ニ落下スルコトアルモ地盤ノ洗去セラル、カ如キコトナカラシメムカ爲メ床面ヲ野面石練張工ト爲シ將來前記ノ如キ大洪水ニ遭遇スルモ其安全ナラムコトヲ期セリ

本工事中締切及ヒ排水ハ請負ニ附シ先ツ取入口ノ上流數十間ノ處ニハ牛棹數個ヲ組

ミ川岸ヨリ一直線ニ突出セシメ其前面ニ松板ヲ垂直ニ釘打トシ河流ヲシテ對岸ニ向ハシメ然ル後前面ノ締切工ニ着手セリ其方法ハ土俵締切ニシテ其位置ハ下流翼壁ノ一部ナル突出部ノ尖端ヨリ約五尺ノ間隔ヲ保タシメ全長七十六尺ニシテ河底ニ堆積セル砂利及ヒ砂ヲ除去シ岩盤ニ達スルニ至リ潛水夫ヲシテ良質ノ粘土ヲ水中ニ運ヒ締切中心位置ノ水底岩石ニ膠着セシメ尙之ヲ挾ミテ前後ニ粘土入土俵ヲ積ミ再ヒ土俵相互ノ間隙ニ粘土ヲ挿入シ之ヲ心ト爲シ漸加シテ水面以上ニ達セシメ其厚サ六尺乃至十尺其高サ八尺乃至十尺ニシテ兩端ハ河岸岩石ニ直接之ヲ取付ケタリ

右締切ノ結果ハ頗ル良好ニシテ二十馬力電動セントリヒユガル唧筒ヲ据付ケ締切内ノ排水ヲ爲シタルニ忽チ其目的ヲ達スル事ヲ得爲メニ施工ヲ容易ナラシメタリ

取入所附近一帶ハ累々タル硬岩水邊ニ峙立セルヲ以テ之カ開鑿ニ際シ鑿音ハ爆聲ト相和シ轟々トシテ山谷ニ震ヒ破岩碎石ハ漸ク人肩ニ依リ之ヲ上流ノ礫捨場ニ運搬スル等大ニ施工ノ困難ナルモノアリシト雖モ締切工ノ成績佳良ナリシ爲メ水面以下ノ切取モ豫想外ノ進捗ヲ見僅ニ四十日ニシテ大體疊築工ノ施行ニ差支ナキ程度ニ達スルコトヲ得タリ

取入所工事ハ青山隧道工事ノ完成後ニ非サレハ施工上種々ノ點ニ於テ不便尠カラサルノミナラス亦到底施工シ難キ個所多ク從テ其着手期日ニ自ラ制限アリ爲ニ水中工事トシテ最モ不利ナル梅雨期ニ際會シ漸ク石積及ヒ混凝土工ヲ起スノ順序トナレリ當時霖雨連日歇マス一朝出水ノ厄ニ際會セムカ工事上享クル障礙多大ナルハ勿論延テ通水ニモ影響ヲ及ホスヲ以テ極力進捗ノ歩ヲ進メタリ然ルニ幸ニモ其後降雨ヲ見ス却テ六十九日間旱リ續キ其間工事著シク進行シ八月ニ於ケル出水ノ當時既ニ上部高ク疊築シアリタルニヨリ特記スヘキ被害ナク進工スルヲ得タルハ誠ニ僥倖ト謂フヘキナリ混凝土ハ多ク一、三、六ノ配合ニシテ基礎工ニハ一、二、四或ハ一、四、八等各其部分ノ目的竝ニ輕重ニ依リ其配合ヲ異ニシ花崗石ハ甲州鹽山産ヲ使用シ其表面ハ特殊ノ場所ヲ除キ荒鑿切加工ヲ施シ玉石、砂利、砂等ハ附近川筋ニ介在ノモノヲ隨時採集使用セリ

門扉ノ反對側ニ懸ル對重ハ内部ニ鐵筋ヲ挿入シ配合一、二、四ノ混凝土ヲ以テ入念ニ打固メタルモノニシテ其重量約二噸四分ノ一トス而シテ七月三十日通水開始後ハ常ニ送水ヲ行ヒツ、未了工事ヲ繼續シ切取工事ト共ニ全部直營ヲ以テ施工セリ

以上工事ノ主要材料タル「セメント」煉瓦、石材、鐵材ハ總テ舟楫ノ便ヲ利用シ運搬シタリ
本工事ハ大正三年三月二十五日着手同四年三月三十一日竣成工費金貳萬貳千八百八拾壹圓參錢ヲ要シタリ

内

材料費 金壹萬千八百九拾六圓八拾參錢

工費 金六千九百八拾四圓貳拾錢

締切費 金四千圓

取入所工事略ホ竣功ニ近ツクヤ串川村青山字匏子平ヨリ同字大岩下ノ境界ニ至ル村道ヲ監視員通行道路幅六尺延長七十五間ニ充ツル爲メ修繕工事ヲ施シ大正四年三月二十日竣功工費金貳拾圓ヲ要シ尋テ同字大岩下ヨリ取入所及ヒ詰所ニ至ル道路總延長四十七間ヲ築造ス此區間ハ斷崖絶壁ヲ開鑿シテ假道ト爲シタルモノニシテ一步ヲ過タハ忽チ數十丈ノ崖下ニ墜落スルノ危険アルヲ以テ之ヲ永久ノ道路ト爲シ安全ニ通行シ得ルノ設備トシテ階段(延長五十三間六分)、手摺(延長四十分)、下水張石(延長五十分)及ヒ土留

石垣(五坪)等ノ工事ヲ施行シ工費金百五拾九圓五拾貳錢ヲ要セリ而シテ監視員詰所ヨリ取入所ニ降下スル通路ハ亦斷岸ノ斜面ニ之ヲ設ケタルモノニシテ險阻ナルノミナラス開鑿後ノ土岩ハ比較的硬質ナルモ縱横ニ龜裂ヲ有シ崩壞ノ虞アルヲ以テ將求ノ安全ヲ圖リ此部分ニ土留トシテ野面石練積石垣(坪數六十七坪七五、延長三百三十八尺高サ五寸乃至十二尺)ヲ築造シ鐵線ヲ以テ手摺ヲ設ケ路面ニハ野面石ヲ整ンテ其間ニ混凝土ヲ填充シ階段ヲ築造シ以テ通行ニ便ナラシメタリ以上ノ工事ハ大正四年三月三十一日竣工シ工費金六百九圓貳拾五錢ヲ要シタリ

取入所監視員詰所ハ木造平家建亞鉛引平板葺ニシテ建坪十坪七合五勺一棟トシ該建設工事ハ直營ニテ施行シ大正二年十二月十三日着手同三年六月四日竣工工費金四百八拾七圓參拾錢八厘ヲ要シタリ
是ヨリ先キ本取入口新設工事施行ニ關シテハ官有河川敷使用ノ許可ヲ申請スルノ必要アリシヲ以テ大正三年一月十六日之カ手續ヲ爲シ許可ヲ得タリ左ノ如シ

神奈川縣指令内土第一〇五號

横濱市

大正三年一月十六日附水臨經第三四九四號申請上水道取入工事ノ爲メ河川敷使用ノ件許可シ別紙命令書ヲ下付ス

大正三年三月十九日

命令書

神奈川縣知事 大島久彌次

横濱市

右ノ者ニ對シ河川敷使用ヲ許可スルニ付本命令書ヲ下付ス

第一條 使用ヲ許可スル道志川河川敷ノ位置ハ津久井郡串川村青山地内宇匏子平地先ニシテ願書竝添付圖面ニ記載スル區域内トス

第二條 使用ノ目的ハ水道取入口設置工事ノ用ニ供スルモノトシ其目的以外ニ轉用スルコトヲ得ス

第三條 工事ハ創竣共本廳ニ届出ツヘシ

第四條 使用權ハ縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ擔保貸付ニ供シ又ハ他人ニ移スコトヲ得ス

第五條 使用期間中ト雖モ法律命令ノ施行ニ依リ又ハ公益上其他縣知事ニ於テ必要アリト認メタルトキハ何時ニテモ本命令書ノ條項ヲ増減變更シ又ハ本許可ヲ解キ若ハ其效力ヲ停止スルコトアルヘシ

第六條 使用人ニ於テ本命令書ノ條項ニ從ハサルトキハ之ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシムヘキハ勿論本許可ヲ取消スコトアルヘシ

第七條 使用ノ爲メ他ニ障害ヲ加ヘ又ハ加ヘムトスルノ虞アルトキハ使用人ノ費用ヲ以テ之ヲ除カシメ又ハ豫防ノ設備ヲ爲サシムルコトアルヘシ

前項ニ依リ命シタル障害ノ除却若ハ豫防ノ設備ヲ怠リタルトキハ縣知事ハ直ニ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシメ其費用ハ使用人ヨリ之ヲ徵收シ若ハ辨償セシムヘシ

第八條 第六條第七條ノ處分ニ依リ使用權ヲ失ヒ又ハ該權ノ行使ニ變更ヲ來シタルカ爲メ使用人ニ於テ損害ヲ蒙ルコトアルモ其賠償ヲ請求スルコトヲ得ス但シ使用權ヲ失ヒタル場合ニ於テハ該個所ニ現存スル使用人ノ物件ハ使用人ノ費用ヲ以テ縣知事ノ指定スル期限内ニ之ヲ除却スヘシ若シ其期限内ニ除却セサ

ルトキハ第八條第二項ヲ適用ス使用期間滿了又ハ使用人ノ都合ニ依リ使用ヲ止メタル場合亦同シ

第九條 本命令又ハ本命令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ使用人ニ於テ履行スヘキ義務ノ爲ニ生スル費用ハ總テ使用人ノ負擔トス

大正三年三月十九日

神奈川縣知事 大 鳥 久 滿 次

第一節 青山隧道

青山隧道ハ前節記載ノ取入所ヨリ除砂池ニ至ル間ノ水路ニシテ串川村青山字蛇子平ニ起リ同字大岩下及ヒ同字山王久保ニ跨リ道志川ノ右岸ニ沿ヒ山腹ヲ貫通セリ本隧道ハ延長四百七十五間三四(即チ二千八百五十二尺)途中曲線(曲線ノ始點ハ隧道起點ヨリ三百六十九間三、交叉角四十九度三十六分五十秒)曲線半徑長サ百二十尺曲線ノ長サ十七間三一、九曲線ノ終點三百八十六間六一、九ヲ以テ左折シ川ノ流心ニ略ホ平行ス其勾配ハ通シテ一様ニ千分ノ一ニシテクッテル氏水理公式ニ依レハ隧道圓心高即

チ水深三尺五寸ニ於テ約百個ノ水量ヲ流過セシメ得ヘシ而シテ工事ノ速成ヲ期スル爲メ右岸山腹ニ横坑ヲ穿チ其長サ十七間ニシテ本線ニ達シ之ヨリ上下流ノ方向ニ掘鑿ヲ進行シ卷立工竣成後之ヲ閉塞セリ

隧道ノ断面ハ拱環ハ三尺五寸側壁ハ十五尺一五仰拱ハ十尺四九ノ各半徑ヲ以テ畫ケル馬蹄形ナルヲ以テ圓心面ニ於テハ七尺起拱面ニ於テハ六尺四寸ノ幅ヲ有シ其高サハ中央七尺ニシテ仰拱ハ兩端起拱面ヨリ五寸低ク側壁及仰拱ハ共ニ配合一、三、六ノ混凝土拱環ハ煉瓦ニシテ地質硬軟ノ程度ニ應シ三枚若ハ二枚卷又ハ掘放ノ三種類ニ分チ側壁ハ其高サ起拱面上三尺其厚サハ煉瓦三枚卷拱環ニ對シテハ一尺二寸二枚卷及掘放ノモノニ對シテハ八寸トシ特ニ掘放ノ場合ハ其壁高ヲ五寸増加シ起拱面上三尺五寸トシ且ツ側壁及ヒ仰拱ノ混凝土面ニハ配合一、二ノ「モルタル」ヲ平均厚サ五分上塗シ混凝土ハ掘鑿セル岩石面ニ直接打固メ煉瓦卷工ニハ充分ナル裏込石ヲ填充セリ隧道ノ起點ハ取入所暗渠ニ連續シ終點ハ除砂池開渠ニ接シ終點ニハ坑門ヲ設ケ當時神奈川縣知事大島久滿次氏ノ揮毫ニ成ル「青山隧道」ノ扁額ヲ掲ケ拱環、柱形、蛇腹笠石等ハ稻田産花崗石其他ハ鼻黒煉瓦ヲ以テ築造セリ

掘鑿ハ上口、横坑及ヒ下口ノ三個所ヨリ同時ニ着手シ先ツ上口ニ於テ長サ九尺九寸幅八尺六寸、深サ約二十五尺ノ堅坑ヲ掘下ケ隧道施工面ニ達シ之ヨリ下流ニ向テ掘進シ横坑ハ長サ十七間ニシテ本線ニ達シ之ヨリ上下ニ向テ掘進ス下口ハ坑門附近切取リ後上流ニ向テ掘進セリ其掘鑿断面積ハ僅少ニシテ煉瓦二枚卷ノ部分ニ於テ僅ニ一立坪八八ナレトモ依然導坑第一及ヒ第二切擴ノ順序ニ工ヲ進メ地質軟弱ノ個所ニハ支保工ヲ施セシモ多クハ堅岩ナリシ爲メ之ヲ使用セサリシ所多シ

地質ハ下口ニ近キ小部分ニ軟岩アルモ概ネ堅砂岩ニシテ殊ニ子持石多ク亦隧道線路中谿谷ノ下部ヲ通過スル處二個所アリシヲ以テ距離百八十間乃至二百八十間ノ邊ニ於テ湧水甚シク岩石ノ裂目ヨリ注下スル狀恰モ大驟雨ノ如ク且ツ殊ニ上口附近ニ於テハ其位置最モ川ニ接近セルヲ以テ河水ノ滲透スルコト甚シク爲ニ施工上困難ヲ感シタリ而シテ掘鑿ハ機械掘及ヒ手掘ヲ併用シ礪ハ上口ニ於テハ堅坑ヨリ「ウキンチ」ヲ以テ捲揚ケ河岸壁ニ架シタル假棧橋ヲ經テ上流土捨場ニ投棄シ横坑ニ於テハ其前面ノ小空地ニ堆積シ下口ニ於テハ下流護岸壁裏ニ之ヲ搬去シタリ

隧道内ノ換氣及ヒ排水ノ爲メ上口ニ於テハ十馬力電動機ヲ備ヘテ「セントリフュガル」